建設経済委員会・分科会 会議記録

- 1 期 日 令和2年9月15日（火）
午前9時28分 開会
午後1時42分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 浅田 徹
副委員長 芦田 竹彦
委員 青山 憲司、上田 倫久、
椿野 仁司、土生田仁志、
松井 正志、村岡 峰男
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 （別紙のとおり）
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主幹兼総務係長 小林 昌弘
- 8 会議に付した事件 （別紙のとおり）

建設経済委員長・分科会長 浅田 徹

建設経済委員会（分科会） 次第

日時：2020年9月15日(火) 9:30～

場所：第3委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 付託・分担案件の審査について（別紙：付託分類表・審査日程表）

(2) 意見・要望のまとめについて

ア 分科会意見・要望のまとめ

イ 委員会意見・要望のまとめ

(3) 閉会中の継続調査（審査）の申し出について

(4) その他

4 閉 会

令和2年第4回豊岡市議会（定例会）議案付託分類表

【建設経済委員会】

- 報告第17号 専決処分したものの報告について
専決第10号 訴えの提起について
報告第22号 放棄した債権の報告について（水道事業会計）
第96号議案 物件購入契約の締結について
第101号議案 令和元年度豊岡市水道事業剰余金の処分について
第102号議案 令和元年度豊岡市下水道事業剰余金の処分について
第104号議案 豊岡市立湯の原温泉オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
第105号議案 豊岡市立たんたん温泉福寿の湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
第106号議案 豊岡市営移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
第116号議案 令和2年度豊岡市太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）
第117号議案 令和2年度豊岡市水道事業会計補正予算（第1号）
第118号議案 令和2年度豊岡市下水道事業会計補正予算（第1号）
第127号議案 令和元年度豊岡市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について
第128号議案 令和元年度豊岡市水道事業会計決算の認定について
第129号議案 令和元年度豊岡市下水道事業会計決算の認定について
第130号議案 令和元年度豊岡市農業共済事業特別会計決算の認定について

予算決算委員会付託議案に係る分科会分担表

【建設経済分科会】

- 報告第18号 専決処分したものの承認を求めることについて
専決第11号 令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第8号）
専決第12号 令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第9号）
報告第20号 放棄した債権の報告について（一般会計）
第108号議案 令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第11号）
第119号議案 令和元年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について

建設経済委員会・(分科会) 審査日程表

審査日程	所管部等名	審査区分	予想時間
9月14日(月) 9:30~ 第3委員会室	【農業委員会】	分 第119号議案 一般会計決算認定 ・所管事項にかかる歳出・歳入 <説明・質疑>	9:30~ 9:45
	【各振興局】 地域振興課 城崎温泉課 【環境経済部】 環境経済課 大交流課	分 第119号議案 一般会計決算認定 ・所管事項にかかる歳出・歳入 ・財産調書 <説明・質疑>	9:30~ 12:00
	【コウノトリ共生部】 農林水産課 コウノトリ共生課 地籍調査課	分 第119号議案 一般会計決算認定 ・所管事項にかかる歳出・歳入 ・財産調書 <説明・質疑>	
	コウノトリ共生課	○ 第127号議案 太陽光発電事業特別会計 決算認定 ・所管事項にかかる歳出・歳入 ・実質収支調書 <説明・質疑・討論・表決>	13:00~ 14:20
	農林水産課	○ 第130号議案 農業共済事業特別会計 決算認定 <説明・質疑・討論・表決>	
【都市整備部】 建設課 都市整備課 建築住宅課	分 報告第20号 放棄した債権の報告 <説明・質疑・討論・表決> 分 第119号議案 一般会計決算認定 ・所管事項にかかる歳出・歳入 ・財産調書 <説明・質疑>	14:30~ 15:50	

審査日程	所管部等名	審査区分	予想時間
	【上下水道部】 水道課 下水道課	分 第 119 号議案 一般会計決算認定 ・所管事項にかかる歳出・歳入 <説明・質疑> ○報告第 22 号 放棄した債権の報告 <説明・質疑・討論・表決> ○第 128 号議案 水道事業会計決算認定 <説明・質疑・討論・表決> ○第 129 号議案 下水道事業会計決算認定 <説明・質疑・討論・表決>	16:00 ~ 17:10
	建設経済委員	分 第 119 号議案に対する討論・表決 ≪委員会・分科会意見・要望まとめ≫ <u>分科会</u> 分 報告第 20 号 放棄した債権の報告 分 第 119 号議案 一般会計決算認定 <u>委員会</u> ○報告第 22 号 放棄した債権の報告 ○第 127 号議案 太陽光発電事業特別会計 決算認定 ○第 128 号議案 水道事業会計決算認定 ○第 129 号議案 下水道事業会計決算認定 ○第 130 号議案 農業共済事業特別会計決 算認定	17:10 ~ 18:00

※ 午前中の部署は全部署 9:30 までに入室いただき、農業委員会の終了・退席後、各振興局と環境経済部を合同で説明・質疑を行います。

午後は、部単位で入室いただき、説明・質疑を行い、説明・質疑が終了した部は退席いただきます。

分 予算決算委員会 建設経済分科会分担議案、○建設経済委員会 付託議案

※ 14 日中に決算認定の討論、表決を行い委員会要望意見の取りまとめを行います。

審査日程	所管部等名	審査区分
9月15日(火) 9:30~ 第3委員会室	【環境経済部】 環境経済課、大交流課 【コウノトリ共生部】 農林水産課、コウノトリ共生課、 【都市整備部】 建設課、都市整備課、建築住宅課、 【城崎振興局】 地域振興課 【日高振興局】 地域振興課 【出石振興局】 地域振興課 【但東振興局】 地域振興課 【上下水道部】 水道課、下水道課	《付託案件》 <個別に説明・質疑・討論・表決> ○報告第17号 専決第10号 ⊗報告第18号 専決第11号 専決第12号 ○第96号議案 ○第101~102号議案 ○第104~106号議案 ⊗第108号議案 ○第116~118号議案
	建設経済委員	《委員会審査意見、要望のまとめ》 <u>分科会</u> ⊗報告第18号 専決第11号 専決第12号 ⊗第108号議案 <u>委員会</u> ○報告第17号、○第96号議案 ○第101~102号議案、 ○第104~106号議案、 ○第116~118号議案

※ 全部署そろって午前9:30開始で、全部署の終了をもって全員退席します。

建設経済委員会名簿(9/15)

=9/15建設経済委員会出席不要

2020年4月1日現在

【委員】

職名	氏名
委員長	浅田 徹
副委員長	芦田 竹彦
委員	青山 憲司
委員	上田 倫久
委員	椿野 仁司
委員	土生田 仁志
委員	松井 正志
委員	村岡 峰男

8名

【当局】

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
環境経済部長	坂本 成彦	環境経済課長	午菴 晴喜		
環境経済部参事	小林 辰美	大交流課長	谷口 雄彦	大交流課参事	藤原 孝行
コウノトリ共生部長	川端 啓介	農林水産課長	柳沢 和男	コウノトリ共生課長	宮下 泰尚
		農林水産課参事	井垣 敬司	地籍調査課長	西谷 英
都市整備部長	澤田 秀夫	建設課長	富森 靖彦	建築住宅課長	山本 正明
都市整備部参事	河本 行正	都市整備課長	石田 敦史	都市整備課参事	北村 省二
城崎振興局長	熊毛 好弘	地域振興課参事	橋本 郁夫	城崎温泉課長	植田 教夫
竹野振興局長	瀧下 貴也	地域振興課長	榎本 啓一		
日高振興局長	小谷 士郎	地域振興課参事	吉田 政明		
出石振興局長	村上 忠夫	地域振興課参事	川崎 隆		
但東振興局長	羽尻 泰広	地域振興課参事	小川 一昭		
上下水道部長	米田 眞一	水道課長	谷垣 康広	水道課参事	和田 哲也
		下水道課長	石津 隆	下水道課参事	堀田 政司
農業委員会事務局		農業委員会事務局長	丸谷 祐二		

27名

【議会事務局】

職名	氏名
主幹兼総務係長	小林 昌弘

1名

計 36名

建設経済委員会重点調査事項

2020. 6 . 15

- 環境経済戦略の推進について
- 農林水産業・商工・観光・特産振興等経済支援、地域活性化施策の推進について
- 有害鳥獣対策の推進について
- 地域内幹線道路の整備促進について
- 都市計画マスタープランについて
- 公営住宅のあり方について
- 下水道事業計画及び地域水道ビジョンの推進について
- 専門職大学と演劇のまちについて
- 新型コロナウイルスに係る地域経済対策について

午前9時28分 開会

○委員長（浅田 徹） おはようございます。

時間になりましたので、ただいまから建設経済委員会を始めたいと思います。

昨日に引き続き、委員の皆さん、当局の皆さんもお疲れのところではあると思うんですけども、いよいよ秋が、爽やかな季節になってきました。議論のほうも爽やかに簡潔に、ひとつよろしく願いをしまして、挨拶に代えます。

では、座って進行いたします。

昨日、昨年度の決算認定を審議をいたしました。その中で、少し答弁漏れといたしますか、保留の分があるということで、環境経済課の午菴課長よりの申出がございましたので、その辺のところ、先立ってひとつよろしくお願ひしたいと思います。

午菴課長。

○環境経済課長（午菴 晴喜） 改めまして、おはようございます。

それでは、今ございましたように、昨日の第119号議案で村岡議員と松井議員からお尋ねの件、回答、答弁保留をしておりますので、お答えをさせていただきたいと思います。

先に、まず、村岡議員からでございます。移住実績、全体と地域別ということで、全体につきましては56人、35組というご返答をさせていただきました。その地区別の内訳でございます。豊岡が23人で16組、城崎が5人で4組、竹野はございませんでした。日高が16人で8組、出石が11人で6組、但東が1人で1組、合計で56人の35組というのが前年度の環境経済課が把握しておる移住の実績でございます。

もう1点、松井議員からのほうは、商工会議所、商工会の補助の中に特定財源、約1,000万円あるが、それが何かということでございました。特定財源につきましては過疎債を充当しておるということで、大交流のほうの答弁と同じになりますが、よろしくお願ひをいたします。以上でございます。

○委員長（浅田 徹） では、この件は了解でいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

では、進めていきます。

本日の進行につきましては、一般会計に関する予算及び決算関係の議案につきましては予算決算委員会に付託されて、当委員会は建設経済分科会として担当部分の審査を分担することになっております。したがって、議事の進行は委員会と分科会を適宜切り替えて行いますので、ご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

これより協議事項1番、付託・分担案件の審査に入ります。

本日、全ての案件の説明、引き続き討論及び表決を行った後、委員会意見、要望の取りまとめを行うことにいたします。これでご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

委員の皆さん、当局の皆さん、質疑、答弁に当たりましては、くれぐれも要点を押さえて簡潔明瞭に行うなど、スムーズな議事進行に格別のご協力をよろしくお願ひをいたします。

また、委員会中の発言につきましては、必ず委員長の指名を受けてから、マイクを使用して発言いただきますように、これもよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、報告第17号、専決処分したものの報告について、専決第10号、訴えの提起についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

建築住宅課、山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 早速、説明をさせていただきます。

議案の5ページをご覧ください。専決第10号、訴えの提起についてということで、ご説明申し上げます。

本件につきましては、本会議、部長説明のとおりでございますけれども、若干補足としまして、訴訟の相手方、記載のとおりです。上段が市営栄町住宅の元入居者の方、下段がその連帯保証人の方でございます。

ます。また、この元入居者ですけれども、市営栄町住宅におきまして、過去、犬を飼育し、他の入居者への迷惑行為ということがございまして、犬を手放すことを和解の条件としまして、2018年5月に簡易裁判所に即決和解を申し立てまして、和解が成立したものでございます。

その後も犬を手放すことなく飼育を継続するという背景の中で、使用料の滞納も発生したために、和解条項不履行によりまして2019年10月31日に契約解除、そして同年11月30日の期限を定めて明渡しを請求をした結果、同年12月9日に自主退去されました。

自主退去に伴いまして、退去検査によって退去修繕費を異議なく支払うということを書面で誓約されておったんですけれども、実際のところ支払いがないために、退去修繕費が57万6,990円、別に、住宅使用料相当額になるんですけれども損害金ということで1万9,300円、合わせまして、記載の59万6,290円の支払いを求めまして豊岡簡易裁判所に通常訴訟の訴えを提起したものでございます。

なお、この専決日は本年8月12日でございます。

以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 退去修繕費が57万7,000円というのは、大変金額が大きいんですが、やっぱり犬の関係か、柱を傷つけたとか等々があるのかな。退去修繕費が57万円というのはね。

○委員長（浅田 徹） 山本課長。

○建築住宅課長（山本 正明） 退去に伴う修繕ということで、当然、普通の一般の方の退去においても修繕というのは発生、市が持分と本人さん負担というのは決まりがありまして、精算します。

ところがこの、今、委員さんが言われたとおり膨大な金額が出ておるといのは、大半が犬の関係で、臭いだとかいうことも含めて、全面的なことをしないとどうにもならないというのが大きな要因でござ

います。

ただ、現実論、一般の住宅であっても、一般の退去者の方でも、例えば10年、15年、20年とか、そんだけ長いこと入居なんかされた場合には、もう正直言って100万を超えるような退去の修繕というのもよくありますし、もので違いますけれども。今回は犬の関係での修繕で大きく金額が出ておるといのは事実でございます。

○委員長（浅田 徹） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

特にご異議なければ、報告第17号、専決第10号は、了承すべきことに決定したいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 特に異議がありませんので、報告第17号、専決第10号は、了承すべきことに決定をしました。

ここで建設経済委員会を暫時休憩いたします。

午前9時36分 委員会休憩

午前9時36分 分科会開会

○分科会長（浅田 徹） ただいまから建設経済分科会を開会いたします。

それでは、報告第18号、専決処分したものの承認を求めることについて、専決第11号、令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

当局の説明は、当委員会の所管に係る補正予算について、歳出及び歳入等の順に説明を願います。

なお、説明に当たりましては、資料のページ番号をお知らせください。

それでは、当局の説明を求めます。

環境経済課、午菴課長。

○環境経済課長（午菴 晴喜） それでは、議案書の21ページをご覧ください。専決11号、補正第8号でございます。

説明欄で説明をさせていただきます。商工振興事業費2億7,650万円でございます。

まず、プレミアム付応援食事券販売業務、いわゆるEAT豊岡につきまして、6月29日の販売開始からおおむね2週間で、当初の4万セットに対し約54%の販売状況となり、販売期間の9月30日までを考えますと券が不足する可能性が高いとの判断から、7月17日付で専決の増額補正をさせていただいたところでございます。これにより4万セットを追加し全体で8万セットとして、現在事業継続を行っております。

関連の情報といたしまして、販売期間につきましては本日の行政無線等でもお伝えを始めたところでございますけれども、12月31日まで使えるように延ばして、飲食店等支援を継続してまいりたいというふうに思っています。

次に、地域飲食店応援事業費、補助金300万円の増額でございます。こちらは豊岡商工会議所がクラウドファンディングにより地域飲食店を応援された「みらい飯」事業でございます。市から30%相当額の補助を行っております。

当初500万円を目標額として、7月17日をクラウドファンディングの終了日として実施をされていたところですが、実績値が1,500万円に届きそうな状況にございましたので、こちら7月17日付で増額の専決補正をさせていただきました。

最終、市の補助の対象となる応援金額は1,268万4,000円となり、市からの補助金380万5,200円の支出も終了させていただいております。

次に、歳入でございます。19ページをご覧ください。今回の専決補正総額2億7,650万円に対し、財政調整基金繰入金から7,650万円を、EAT豊岡の券販売収入といたしまして、4万セット掛ける5,000円の合計として2億円を計上しております。

説明は以上でございます。

○分科会長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

青山委員。

○委員（青山 憲司） 今回のこのEAT豊岡、昨日

レターケースを見ましたら12月いっぱいまでということで、大変喜んでおりますし、私も活用させていただいておりますけれども。

その上で、多くの方が今回、このEAT豊岡のチケットを利用されていると思うんですが、一般質問の中でもあったんですけど、一部、不正使用が認められたというふうな事実もあったということで、そういう実態の事例件数と具体的な内容が分かれば、少し。ここで報告していただける分で結構ですので、ちょっとお知らせをいただきたいなど。もしあれでしたら、休憩を取っていただいて、その実態についてやっぱり掌握をしておきたいというふうに思いますので、委員長の計らいでよろしくお願ひしたいと思います。

○分科会長（浅田 徹） 答弁願います。

午菴課長。

○環境経済課長（午菴 晴喜） 事例といたしましては、ご本人で購入されたものをご本人のお店で使われたというようなケースでございます。実際に今、お店の方とヒアリングをさせていただいて処理をさせていただいたのが1件、お電話等での対応が1件、それから明日もまた1件、新たに少し確認をさせていただきたいということで、呼出しをしているようなものがございます。こちらにつきましても、随時回収をしてきましたチケット等を職員のほうで確認をしながら、疑義がある分について確認をさせながら進めていきたいというふうに考えています。以上です。

○委員（青山 憲司） 委員長、いいですか。

○分科会長（浅田 徹） はい、青山委員。

○委員（青山 憲司） その後のそういった不正事案に対する処分というか処理の内容についても、少しお知らせいただきたいと思います。

○分科会長（浅田 徹） 暫時休憩します。

午前9時42分休憩

午前9時47分再開

○分科会長（浅田 徹） 再開をします。

今の関係、この関係の不正についてはしっかりと、

今、青山委員からありましたように、不正等が再発しないような、そういう意見というかを言わせていただくという、強い意見を言わせていただくという
ことで、青山委員、いいですね。

○委員（青山 憲司） はい。

○分科会長（浅田 徹） そのことで、よろしくお
願いしたいなと思います。

ほかに質問は、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） それでは、質疑を打ち切
ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本件は、承認すべきものと決
定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。

よって、報告第18号、専決第11号は、承認すべ
きものと決定をいたしました。

続いて、報告第18号、専決処分したものの承認
を求めることについて、専決第12号、令和2年度
豊岡市一般会計補正予算（第9号）を議題といたし
ます。

当局の説明は、当委員会の所管に係る補正予算に
ついて、歳出及び歳入の順に説明を願います。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお
知らせください。

当局の説明を求めます。

午菴課長。

○環境経済課長（午菴 晴喜） それでは、引き続き
まして議案書35ページをご覧ください。専決第1
2号、補正第9号でございます。特産振興事業費補
助金といたしまして3,000万円の増額ござい
ます。

この豊岡産品域内消費促進事業費は、いわゆるB
UY豊岡事業でございます。当初、かばん、但馬牛
等を対象産品といたしまして、7月27日から販売
を開始をいたしました。その後、出石そば、豊岡

杞柳細工など、対象商品の拡充による参加店舗の増
加等もございまして、売行きが想像以上に推移をし
ておりました。このため、8月7日付で専決の増額
補正をさせていただいたところでございます。これ
により、市としての買い支えの総額は倍の2億円と
いうことになっております。

こちらのほうにつきましては、9月30日までの
期限で、当初の計画どおり進めてまいりたいという
ふうに考えております。

次に、歳入でございます。33ページをござい
ください。今回の専決補正額総額全額分を財政調整基金
繰入金としております。

説明は以上でございます。

○分科会長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） お諮りいたします。本件
は、承認すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。

よって、報告第18号、専決第12号は、承認すべ
きものと決定しました。

ここで建設経済分科会を暫時休憩をいたします。

午前9時50分 分科会休憩

午前9時50分 委員会再開

○委員長（浅田 徹） 建設経済委員会を再開いた
します。

まず、第96号議案、物件購入契約の締結につい
てを議題といたします。

当局の説明を求めます。

建設課、富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 議案書の77ページを
ご覧ください。第96号議案、物件購入契約の締結に
ついてご説明をさせていただきます。

本会議で都市整備部参事が説明いたしましたの

で、若干補足をさせていただきます。

本件に係ります除雪ドーザにつきましては、現行の機種につきましては平成9年4月に購入したもので、既に23年が経過しております。また、使用地域につきましては、日高町内の神鍋地域で使用を予定しております。本件につきましては、道路維持作業車更新計画に基づきまして更新をするものです。

以上で説明を終わります。よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第96号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第101号議案、令和元年度豊岡市水道事業剰余金の処分についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

水道課、谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 93ページをご覧ください。第101号議案、令和元年度豊岡市水道事業剰余金処分についてご説明いたします。

本議案は、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるものであります。

処分内容でございますが、本会議で部長が説明しましたとおり、90万円を豊岡市奨学基金へ繰り出しを目的とした豊岡市奨学基金積立金に積み立て、残り14億3,249万7,411円を翌年度へ繰り越しいたします。

以上、よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） この90万円の奨学基金積立てをするんですけども、この基金の活用のほうは水道ではなくて教育委員会ですか、管理は。管理とどうか、あれは。

○委員長（浅田 徹） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 用途につきましては、教育委員会のほうで検討されてるというふうに認識しております。

○委員長（浅田 徹） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第101号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定をしました。

続いて、第102号議案、令和元年度豊岡市下水道事業剰余金の処分についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

下水道課、石津課長。

○下水道課長（石津 隆） 95ページをご覧ください。第102号議案、令和元年度豊岡市下水道事業剰余金の処分についてご説明いたします。

本議案は、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

処分内容につきましては、本会議で部長が説明したとおり、12億8,891万441円を減債積立金に、138万3,477円を建設改良積立金に積み立て、後で減債積立金を3億5,087万5,330円取り崩し、自己資本金に組み入れようとするものでございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどをお願いいたします。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。
お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第102号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第104号議案、豊岡市立湯の原温泉オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。
当局の説明を求めます。

日高振興局、吉田参事。

○日高振興局地域振興課参事（吉田 政明） 第104号議案、豊岡市立湯の原温泉オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についてご説明いたします。

議案書109ページをご覧ください。改正の内容については条例案要綱によりご説明いたします。112ページをご覧ください。

近年のキャンプ場需要の高まりと冬の期間における降雪量の減少を踏まえ、キャンプ場の開設期間を見直し、通年で使用できるように改めるものです。

なお、この条例は、令和3年4月1日から施行することとしております。

説明は以上です。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。
討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。
お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決す

べきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第104号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

続いて、第105号議案、豊岡市立たんたん温泉福寿の湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

但東振興局、小川参事。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） それでは、議案115ページをご覧ください。第105号議案、豊岡市立たんたん温泉福寿の湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についてご説明いたします。

今回の改正につきましては、たんたん温泉福寿の湯の食事施設の整備に伴い、当該食事施設の開館時間を定めるための改正をしようとするものです。

提案内容につきましては、本会議で但東振興局長が説明したとおりです。

補足といたしまして、今回、2点の改正内容があります。118ページをご覧ください。条例案要綱により概要をご説明いたします。

1つは、食事施設の開館時間を、日曜日、土曜日及び休日の午前9時から午後6時までと定めるものです。2つ目は、温泉館の使用に係る料金を入浴施設と改めるものです。

なお、この条例につきましては、令和2年10月1日から施行することとしています。

説明は以上でございます。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。
質疑はありませんか。

椿野委員。

○委員（椿野 仁司） このことについての質問じゃないんですが、ちょっとお聞きしたいんですが、たんたん温泉の福寿の湯は合併後できたわけなんですけども、地元の人たちのいろんな思いがあって、あそこの温泉ができました。今現状は、ずっと把握してるわけじゃないんですけど、一度温泉が出なくな

って新しく温泉を泉源を見つけてやったという経過もあるんだけど、地元の但東町の方のご利用はどれくらいあるのかなど。聞くところによると、隣の京丹後の方々もかなりご利用いただいているようなので、別にご利用いただくことは悪いことではないんだけど、もともとのことでいくと、いわゆる地元の方々非常に切望された温泉というふうに私は受け止めておりますが、現状は一体どうなのかなど。

この施設ができて、さらに活性化され、また、人がたくさん行かれることが一番望ましいことなので、いいことなんだけど、その点だけちょっとお尋ねをしたいと思います。関連をお願いします。

○委員長（浅田 徹） 小川参事。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） 地元の利用の方は二、三割程度ということで報告を受けています。

また、この施設なんですけど、主なターゲットは但東地域住民、特に子育て世代の女性をしております。こちらに、但東温泉に集い、憩いの場として利用しやすい曜日設定もしておりますので、どんどん地元の方のご利用を進めていきたいと思っております。以上でございます。

○委員長（浅田 徹） いいですか。

○委員（椿野 仁司） はい、分かりました。

○委員長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 今の関連で、二、三割というのは、住民の二、三割ですか、全体の利用者の二、三割ですか。住民の二、三割だったら、もっといけるのかなと思ったんで、それが1点と。

それと、この温泉の運営は地元でしたよね。この食堂は同じ事業者ですか、運営は。

○委員長（浅田 徹） 小川参事。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） 利用者の方の二、三割ということですよ。

それと、あとこちらのほうのたんたん温泉の食堂の経営なんですけど、指定管理者である、たんたん温泉運営管理組合が食堂施設の運営を食事を提供するものとして委託契約、こちらのほうをまずは結

んで運営をしていただく予定になっております。以上でございます。

○委員長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 管理組合がさらに委託をして、別の業者にさらに委託をして食堂は運営されるということなわけですね。

○委員長（浅田 徹） そのように、はい。そういう説明があったわけです。駄目押しですな。

はい、どうぞ。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） そのとおりでございます。

○委員（村岡 峰男） 頑張ってもらいましょう。（「そうですな」と呼ぶ者あり）

○委員長（浅田 徹） それでは、質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第105号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第106号議案、豊岡市営移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

小川参事。

○但東振興局地域振興課参事（小川 一昭） 続きまして、議案121ページをご覧ください。第106号議案、豊岡市営移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定についてご説明いたします。

今回の改正につきましては、但東地域に移住しようとする者に住宅を賃貸することにより、人口の確保と地域の活性化を図るため、特定公共賃貸住宅赤野住宅5戸を移住促進住宅に用途変更するものです。

提案内容につきましては、本会議で但東振興副部長が説明したとおりです。

なお、補足といたしまして、今回の条例改正により豊岡市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例で定める赤野住宅の用途廃止を同一議案として提案しています。

また、この条例につきましては、令和2年10月1日から施行することとしています。

説明は以上です。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第106号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

ここで建設経済委員会を暫時休憩いたします。

午前10時04分 委員会休憩

午前10時04分 分科会再開

○分科会長（浅田 徹） 建設経済分科会を再開いたします。

それでは、第108号議案、令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第11号）を議題といたします。

なお、説明については、所管事項に係る部分について課ごとに歳出、歳入、債務負担行為補正及び地方債補正の順に説明をお願いいたします。

なお、説明に当たっては、資料のページ番号をお知らせください。

それでは、環境経済部から組織順で説明をお願いしたいと思います。

環境経済課、午菴課長。

○環境経済課長（午菴 晴喜） それでは、議案書1

79ページをご覧ください。上から2段目のくくり、地域おこし協力隊推進事業費3,184万2,000円でございます。コロナ禍にあって、地方への関心の高まりなどから、地域おこし協力隊への応募者が増えてございます。このため、この状況を好機と捉え、隊員の拡充を図るため、それに伴う活動費等の追加をお願いするものでございます。内訳といたしましては、10月採用予定分としまして13人分を、さらに1月着任予定分として3人分を加えた活動費をお願いするものでございます。

次に、181ページをご覧ください。一番下のくくり、下から6行目、豊岡市工業会支援事業費40万円の減額でございます。7月に開催予定としておりました、小学校の親子等を対象としたものづくりイベントを、コロナ禍で中止としましたので、それに伴って減額をさせていただくものでございます。

続きまして、197ページをご覧ください。一番上のくくりとなります。上から4行目、感染症対策事業費のうち補助金でございます。内数となりますけれども、総額9,250万円の減額のうち900万円分が環境経済課分であり、飲食店等の関係分というふうになります。事業執行見込額による減額でございます。

次に、203ページをご覧ください。上から2つ目のくくりです。商工振興事業費2億2,938万7,000円の減額でございます。

まず、中小企業等経営安定化緊急支援業務につきましては、商工団体に業務委託いたしました雇用調整助成金の申請支援に関するものとして、さらにその下、休業要請事業者経営継続支援事業につきましては、兵庫県からの委託業務ですが、県の休業要請に関するものであり、それぞれ事業執行見込みによりまして減額をさせていただきます。

次はその下、補助金でございます。商工会議所・商工会運営費の400万円の減額につきましては柳まつりの中止に伴うもの、さらにその下、城崎温泉ふるさと祭り事業費につきましても中止に伴う減額でございます。その下、商工業支援対策事業費につきましては、既存技術等を生かした新分野等へ

の進出に伴う事業費の補助でございましたが、事業執行見込みにより500万円を減額するものでございます。

続きまして、その下、交付金です。休業要請協力金及び緊急雇用維持助成金、ともに市独自の支援でございまして、こちらも事業執行見込みによりそれぞれ300万円及び2億円を減額するものでございます。

その下、中小企業金融対策事業費1,500万円の減額につきましては利子補給に関するもので、これも事業執行見込みにより減額をさせていただくものでございます。

205ページをご覧ください。上から2つ目のくくりでございます。中心市街地活性化事業費330万円でございます。コロナ禍にあつて、中心市街地におきましても多くのイベントが中止を余儀なくされております。今後のコロナ感染症の収束等が条件になりますが、中心市街地においてウィズコロナの視点でイベント開催をし、地域に元気を与えたいということで、その事業費として計上しております。

続きまして、歳入です。

167ページをご覧ください。167ページでございます。一番下です。地方創生臨時交付金、これも内数となりますけれども、このうち1億870万円分が環境経済課関係分となります。

次に、171ページでございます。こちらも一番下のくくりでございます。繰入金でございますが、財政調整基金繰入金のうち、マイナス364万5,000円が環境経済分となり、さらにその下、被災者生活再建支援基金繰入金につきましては全額が環境経済課分となります。

私からの説明は以上でございます。

○分科会長（浅田 徹） 大交流課、谷口課長。

○大交流課長（谷口 雄彦） 議案書のまずは181ページをお開きください。地方創生推進事業費のうちの海外戦略推進事業費でございます。コロナ禍でインバウンドの誘客プロモーション事業を一部中止としておりますので、それに伴います職員の渡航旅費でありますとか、次のページでございますけど

も、183ページ、海の京都、森の京都とオーストラリアを対象にビジットジャパン地方連携事業を計画してはいたしましたが、その負担金を減額するものでございます。

同じく183ページでございますけれども、政策アドバイザー推進事業費でございます。このうち2か月分、政策アドバイザーの活用が決まっておりますので、それに伴います費用弁償、補償金の減額の補正でございます。

次に、197ページをお開きください。先ほど環境経済課からも説明がありましたけれども、上段、2段目でございます。感染症対策事業費のうち大交流課分、内数でございますけれども、感染症予防力向上事業費のうち1,350万円分を減額するものでございます。

次に、203ページをお開きください。一番下の段でございます。観光事業費でございます。そのうち投資委託料、実施設計といたしまして、城崎国際アートセンターを活用したテレワーク推進計画を進めておりますけれども、その実施設計料を一部増額させていただく予算でございます。それから、その下、新規事業といたしましてワーケーションモニターツアー事業という、300万円計上しておりますけれども、コロナ禍におきまして働き方が変わってきたということを踏まえて、ワーケーションプラン、法人向けのワーケーションプランの企画、造成でありますとか、モニターのツアーを実施しようとするものでございます。

次に、205ページをお開きください。一番上の豊岡ツーリズム協議会の補助金の2,050万円の減額補正でございますけれども、これは新型コロナウイルス対策ということで、当初はデジタルアート事業を実施しようとして予算をいただいておりますけれども、コロナの進行状況が読めない中で事業の企画ができなかったということで減額補正させていただこうとするものです。その下、情報戦略推進事業費のうち広告料でございますけれども、専門職大学の開学を4月に控えまして、深さを持った演劇のまちづくりを中心とした豊岡市のまちづくりの発信

をするために132万円、広告料を計上したものでございます。

次、歳入でございますけれども、167ページをお開きください。一番下の地方創生臨時交付金、これも内数でございますが、大交流課分として2億2,306万6,000円が大交流課分でございます。説明は以上でございます。

○分科会長（浅田 徹） 農林水産課、柳沢和男課長。

○農林水産課長（柳沢 和男） それでは、歳出のほうからご説明をさせていただきます。

198ページ、199ページをご覧ください。上から3つ目の囲みでございます、農地費です。説明欄をご覧ください。農業用施設管理費として5,450万円の増額を上げております。これは、ふるさと農道、日高八鹿円山川右岸地区でございますけれども、のり面におきまして岩盤の風化が進み、近年、小規模な落石があつて通行に支障を来すことがございます。そのための防災対策工事を行うものです。本年度当初予算で調査設計費としまして550万円を計上しておりますけれども、昨年度末に事業採択となり、繰越事業で調査設計を先行して実施してきました。防災の観点によりまして、早期に工事着工を目指し、県との調整がついたことから、今回、この時期の補正予算を上げ、対応するものでございます。したがって、当初予算計上の調査設計費550万円を減額をし、工事費を6,000万円追加をすると、差引き5,450万円の増額補正となります。工事につきましては、進美寺トンネルの赤崎坑口部分で落石防止柵の工事、八鹿側坑口付近ののり面でコンクリート吹きつけ工の実施を予定しております。

続きまして、その下、畜産業費でございます。財源更正でございますけれども、一般財源を国県支出金、地方創生臨時交付金のほうに振り替えるというふうなものでございます。

続きまして、200ページ、201ページをご覧ください。上の囲みの一番下でございます。奈佐森林公園等管理費です。特定財源69万5,000円

を一般財源に振り替える財源更正を上げております。財源として充当する使用料の収入見込みが減少となったものに起因するものでございます。

続きまして、真ん中の囲みの下段でございます。水産業振興費です。水産業振興事業費の1,780万円の増額でございます。これは但馬漁業協同組合に対しまして水産加工施設整備事業費として補助するものでございます。津居山支所にある老朽化した乾燥加工設備、温風のみ機能で2機あるわけですけれども、これを更新する費用を対象にしております。補助率は3分の2以内としております。新たな乾燥施設は温度調整が可能な設備であり、加工品目も増えることから、コロナウイルス感染症の影響を受ける水産物の消費拡大に資するものと考えております。

続きまして、歳入でございます。

164ページ、165ページをご覧ください。一番下の一番下、林業使用料です。先ほどご説明しました奈佐森林公園の使用料につきまして、69万5,000円減額をするというものでございます。これにつきましては、コロナウイルス感染症の拡大に対しまして奈佐森林公園を5月から6月にかけて休園をしたこと、あるいは今後の使用の見通し等、不透明な部分もございますので、そういったことの見込みによりまして減額をさせていただくものでございます。

続きまして、166ページ、167ページをご覧ください。一番下の囲みの一番下でございます。地方創生臨時交付金。農林水産課分につきましては2,153万6,000円が該当するというところでございます。

続きまして、168ページ、169ページでございます。真ん中の囲みの上から4番目の農業費補助金です。農地整備事業費補助金として3,978万5,000円を計上しております。先ほどの歳出予算で説明しました、ふるさと農道に係る防災対策工事の国、県の負担分となります。

続きまして、172ページ、173ページをご覧ください。一番下の囲みの農業債でございます。土

地改良事業債として1,390万円を計上しております。これは、ふるさと農道に係る防災対策工事の市負担分の起債に係るものでございます。

続きまして、ページ戻っていただきまして、156ページをご覧ください。債務負担行為の補正でございます。上から3番目、豊岡農業スクール開校事業です。令和3年度分として新規スクール生3名の事業費450万円の追加を上げております。

続きまして、157ページ、地方債補正でございます。一番上の土地改良事業費です。先ほど歳入予算で説明しました、ふるさと農道に係る工事分の起債として1,390万円を増額し、1,530万円に変更するものでございます。

農林水産課からは以上でございます。

○分科会長（浅田 徹） コウノトリ共生課、宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 179ページをお開きください。中段の太陽光発電システム導入補助事業費です。当初400万円を計上していましたが、固定価格買取制度、通称FIT終了による余剰電力の買取価格の下落と、昨今の大規模災害の頻発によって市民意識が変化してきたのかなというふうに考えておりますが、今年度、蓄電池への補助件数が大きく伸び、予算不足に陥るおそれが出てきたことから、200万円の追加予算をお願いするものです。

次に、171ページをお開きください。歳入についてご説明いたします。下段、太陽光発電事業特別会計繰入金です。2019年度太陽光発電事業特別会計決算による繰越金から基金への積立金210万2,000円を除きました338万3,000円を繰り入れ、太陽光発電システム導入補助金等に充当するものです。

説明は以上です。

○分科会長（浅田 徹） 建設課、富森課長。

○建設課長（富森 靖彦） 議案書の204ページ、205ページをご覧ください。土木費の土木管理費、3番目の内水処理費です。これにつきましては財源更正となります。山田川流域の内水対策事業の財源

につきまして、当初、合併特例債と一般財源としていましたものを、充当率100%の緊急自然災害防止対策事業債を活用することとしたものです。

続きまして、206、207ページをご覧ください。上から2段目の道路維持費です。これにつきましては、日高町観音寺地内の市道栗山妙見線におきまして、道路幅員確保のため、知見川に張り出しておりますコンクリート床版につきまして、その基礎部に著しい損傷が認められましたので、早急な補修が必要ということから、その補修設計を計上させていただいております。今年度に補修設計、それから来年度に補修工事ということで、850万円の増額補正をお願いをするものです。

続きまして、同じページですが、道路橋りょう費の一番下の5番の橋梁維持費です。これにつきましては、木製上部工に腐食が見られたり、あと橋脚に損傷が見られるというような事例があります、豊岡市の駄坂の上地橋、それから竹野町須谷の岡田橋、それから但東町河本のロクロ橋、この3橋につきまして緊急に補修が必要ということで、委託設計費1,630万円を計上させていただいております。あわせて、補修工事費ということで、上地橋に520万円を上げさせていただいております。合計2,150万円の増額補正をお願いをするものです。

続きまして、歳入です。

172、173ページをご覧ください。一番下の表の市債になります、土木債です。土木債の真ん中の土木管理債。先ほど説明いたしました内水処理施設整備事業債ということで300万円の市債を計上させていただいております。ああ、すみません、330万円の増額を上げさせていただいております。

続きまして、地方債の補正です。157ページをご覧ください。157ページの地方債の変更ですが、上から2つ目の段になります。内水処理施設整備事業費ということで6,600万円の増額変更ということで上げさせていただいております。

すみません、先ほど説明の中で、市道栗山妙見線、知見川と言いましたが、観音寺川に張り出しており

ます床版です。訂正させていただきます。

説明は以上です。

○分科会長（浅田 徹） 都市整備課、石田課長。

○都市整備課長（石田 敦史） それでは、議案書の178、179ページのほうをご覧ください。中段あたり、目8の公共交通対策費では、バス交通対策事業費の補助金から340万円を減額補正するものです。これにつきましては、高校生通学バス定期購入補助金が、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして高等学校が休業されたことに伴い、4月、5月の定期購入が見込みよりも約8割落ち込む結果となり、340万円の減額補正をするものです。

また、6月補正で公共交通対策事業者支援給付金2,720万円の財源を、今回の補正で一般財源から地方創生臨時交付金に財源更正を併せて行っております。178ページのほうの財源内訳欄の国県支出金欄をご覧くださいましたらお分かりいただけます。

続いて、180、181ページのほうをご覧ください。中段あたり、目22の但馬空港利用促進費では、但馬空港利用促進事業費の補助金から1,800万円を減額補正するものです。これにつきましても、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして4月から6月の3か月分の利用者の減数による空港助成金が大幅に減額となり、市のコウノトリ但馬空港利用促進協議会への補助金を1,800万円減額補正するものです。

続いて、182、183ページのほうをご覧ください。1つ目の枠の最後の事業、目34地方創生推進事業費の子育て支援総合拠点等整備事業費の手数料200万円の補正につきましては、子育て育成の支援事業を主とするアイティ4階フロアの一部を買収することに関連して、不動産鑑定士に鑑定を依頼するため、新たに役務費の手数料を補正するものです。また、次の子育て支援総合拠点等構想策定業務委託料300万円の補正につきましては、4階フロアにおける地方創生を誘導する子育て総合支援拠点施設として、子育て総合センターや発達障害児等の支援を行うこども支援センター、また、子供

図書館や女性就労支援施設といった多様な交流の場、さらに7階でのテレワーク拠点など、4階と7階の利活用のための配置計画やプランニングといった構想を策定するための補正でございます。

続いて、208、209ページのほうをご覧ください。2つ目の枠の中ほど、目2の公園管理費では、公園施設長寿命化事業費の工事請負費から2,000万円を減額補正するものです。今年度、施設の長寿命化事業として、公共施設等適正管理推進事業債で日高町民公園トイレの改修工事を行う予定でありましたが、旧日高町時代に補助事業で整備した施設でありまして、耐用年数がまだ経過していないことから、工事を実施するに当たっては財産処分に係る国との協議に不測の日数を要することから、今回、2,000万円を減額補正するものです。

続いて、戻っていただきまして、歳入のほうを説明します。

166、167ページのほうをご覧ください。3つ目の枠の最下段、地方創生臨時交付金のうち、都市整備課に関連するものは2,720万円で、先ほど公共交通対策事業費での財源更正によるものです。

続いて、172、173ページをご覧ください。4つ目の枠の最下段、目8土木債の公園整備事業債1,800万円の減額は、先ほど申し上げました公園施設長寿命化事業の日高町民公園トイレの減額によるものです。

次に、第2表の156ページのほうをご覧ください。債務負担行為補正です。1行目の子育て支援総合拠点等整備事業として、令和3年度において3億2,500万円の限度額設定をするものです。既にご承知いただいております、アイティ4階の土地並びに建物の一部、面積にして約3,200平方メートル余りを市が購入することとなりますが、生涯学習サロン部分につきましては2021年4月に開設予定となることから、今年度に購入するべく、生涯学習課のほうで今回補正予算で上程されているところです。

なお、生涯学習サロン以外の部分につきましては、

既存の店舗の撤去が来年6月頃となることから、土地と建物につきまして令和3年度に取得することとして、今回の債務負担行為補正として限度額3億5,000万円を追加設定するものです。

続いて、隣の157ページのほうをご覧ください。地方債補正です。中ほどに公園整備事業費の公園施設長寿命化事業につきましては、先ほどから説明しておりますが、日高町民公園トイレの減額に伴うもので、限度額を補正前の5,930万円から補正後4,130万円に、1,800万円を減額するものです。

都市整備課からは以上です。

○分科会長（浅田 徹） 城崎地域振興課、橋本参事。

○城崎振興局地域振興課参事（橋本 郁夫） 207ページをお開き願います。中ほど、上から4つ目の囲み、雪害対策事業費でございます。こちらは城崎町ひのそ地区に整備された消雪装置の修繕になります。この消雪設備は平成16年度に整備され、15年以上が経過しておりますが、今年の2月に水源に設置したポンプが故障し、消雪設備を稼働することができなくなりました。修繕にはポンプの取替えが必要となりましたので、次の積雪期までに修繕を行うこととして、198万8,000円の補正予算を計上しているところでございます。

説明は以上になります。

○分科会長（浅田 徹） 出石地域振興課、川崎参事。

○出石振興局地域振興課参事（川崎 隆） それでは、歳出のほうから説明させていただきます。

180ページ、181ページをご覧ください。それぞれ説明欄をご覧くださいと思います。上から3つ目の段になります、出石振興局プロジェクト事業費250万円の減額です。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、出石お城まつりの開催中止に伴い、事業補助を取りやめたものです。

続きまして、208ページ、209ページをご覧ください。下から2つ目の段になります。出石駐車場管理費92万9,000円の減額です。新型コロ

ナウイルス感染拡大防止のため駐車場を休業していた期間の委託料を減額したものです。

次に、歳入について説明いたします。

166ページ、167ページをご覧ください。一番上の段になります。駐車場使用料です。出石振興局分は、出石西の丸駐車場が140万1,000円、出石石庁舎南側駐車場が131万2,000円、出石鉄砲町駐車場が1,67万2,000円を減額しております。これを新型コロナウイルス感染症の影響により利用客減少のため、4月から6月までの使用料の減によるものです。

出石振興局からは以上です。

○分科会長（浅田 徹） 説明は終わりました。

ここで分科会を暫時休憩したいと思います。再開は10時45分。

午前10時35分 分科会休憩

午前10時44分 分科会再開

○分科会長（浅田 徹） それでは、分科会を再開いたします。

第108号議案の当局説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありますか。

青山委員。

○委員（青山 憲司） 今、焦点となってる部分についてお伺いしたいと思います。1点だけです。

債務負担行為と、今回、520万円の鑑定等が含まれた予算が含まれているアイティの4階フロアに関する内容ですけども、先ほどの説明では、サロンは来年の4月開院に向けて動き出してるということでもありますけれども、サロン以外の床の撤去についても既に話はできとるかのようなお話がございます。この4階フロアの取得部分に、あるいはアイティの経営等に関して、どこまで話が進んでるのか、その辺りをちょっと明確にお答えいただきたいと思います。

○分科会長（浅田 徹） 都市整備部、澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 今、さとう側との話の中では、まず、4階の学習サロンが入る場所、今、ゲームセンターがあるんですけども、そのゲーム

センターについては年内に移設をしていただく。そして、ゲームセンター以外の今、100円ショップとかギフトがあるんですけども、そこが子育て支援の拠点整備として利用するわけなんですけど、そこにつきましましては来年の6月中までに撤去をしていただきたいということで協議をしております。以上です。

○分科会長（浅田 徹） 青山委員。

○委員（青山 憲司） それは、今おっしゃった内容は、4階フロアを豊岡市が買い取るという前提での交渉というのか、話になっておりますが、その合意についてはどうなんでしょうか。どこまで合意をされてるのか。その今の4階フロアを買って、今の6月までに床を整備するという話が、果たしてさとうさん側でどこまで進んでるのか。また、市のほうとしては、さとうさんとどういった合意がそこまでなされているのか、そのところをもう少し詳しくお願いします。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） さとう側とは直接書面とかでは、まだ交わしてはおりませんが、ある程度、議会答弁でもご説明しておりましたが、あくまでもまだ口頭での約束でございます。それで、さとう側にも、あくまでも9月補正で予算が成立したら、すぐにステップを踏ませていただきたいということを言っております。それは、次のステップというのは、当然、不動産鑑定を行って、当然、床の価格を決定し、それで契約に進むといった、そういった手続になりますので、あくまでもまずこの9月補正が一つの、それをお認めいただけないと次のステップにはあくまでも進めませんということは伝えております。

○委員（青山 憲司） はい、よろしいです。

○分科会長（浅田 徹） ほかに。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） くどいようですけども、確認をまずさせてください。

生きがい創造学院のオープンは何月だって。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 今のスケジュールでは、4月1日の開校を目指しております。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） それは、豊岡市としては4月1日ですけども、生きがい創造学院の運営は、何ていうんか、あっちの学校ね、学院とは、それは約束されとるんですか。4月1日にこっちに移りますからという約束。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 学院側のほうとは、当初、もう少し早い時期に完成するという予定だったんですけども、最終的に、遅れ遅れして4月1日の開校ということで、生きがい創造学院のほうには伝えております。

学院の生徒の方もだんだん減少傾向にあって、もうこれ以上遅らすことはできないということで、4月1日の開校を目指しております。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） それは学院側とは4月1日を目指すとかじゃなくて、4月1日開校しますからという、もう既に約束をしているということですか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 口頭で4月1日に、アイティ4階に上げて4月1日のオープンを行いますということを伝えております。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 先ほどの説明で、ゲームセンターのところは年内移設だと。さとうとはそういう口頭での約束。その4月1日開設いったって、こちらの年内移設が、向こうの撤去が済むと、それを前提は4階の買収でしょう。そのことが、まだ予算通つとれへんわけだね、この段階で4月1日開設を約束しますというのは、ちょっと早過ぎるんちゃう。どうですか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） そう言われますように、当然、4階フロアの契約ができて初めてそこに移転ですけども、あくまでもこういう事業というものは何でもそうですけども、当然、道路なんかで

も用地買収して行って、いつ頃完成目指すということになりますので、あくまでも、まだ取得はできてませんが、目標年次というのは表明して、どの事業でもやってると思います。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 道路事業なんかと比較にならない大問題をはらんどるわけですから、僕は、軽々に4月開校に間に合うように準備しますよと、市として、というのはちょっと僕は、約束としてね、学院側にそこまで言うというのはちょっとどうかいなということをおもいます。

それがもう全部、この9月議会、市長の答弁も副市長の答弁も、4月1日開校と、このことが大前提にあるから、この議会でどうしても通してもらわないというふうに僕はなってきたおもうんだよね、逆算をして。軽々に判断できないよね、私としてはね。まだ、この話聞いてからちょうど一月でしょう。一月でこの判断をせえというのは、どだい無理な話だなと思っています。

それと、話ついでに、部長はさとうとの交渉には参加をしているんですか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） はい、さとう側との交渉には入っております。

○分科会長（浅田 徹） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 担当が違うかも分かんないんですけど、分かっているなら教えてほしいんですけど、今の村岡さんの質問の中で、もともと生きがい創造学院は、あそこの場所からいわゆる駅というか、請願なり陳情が出てきたのを受けて、議会がそれに対して議案として出てきたのを議決したという経緯があるんですけど、遅れ遅れになってしまっていて、いろんな問題があったりして。あれはいつ頃だったと記憶してますか。生きがい創造学院の話が。（「陳情の件」と呼ぶ者あり）

陳情が出てきて議決したのはいつ頃だったんですか。（「4年ほど前か」と呼ぶ者あり）

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） ちょっと期日とか日

にちについては、ちょっと私のほうは分かりません。（「それは議会のほうじゃないですか」と呼ぶ者あり）

○分科会長（浅田 徹） 暫時休憩。

午前10時54分 分科会休憩

午前10時59分 分科会再開

○分科会長（浅田 徹） じゃあ、暫時休憩から、さらに再開をいたします。

今、村岡委員、今のことはもうよろしいか。

○委員（村岡 峰男） まだ。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） オープンの関係でね、4月の。

例えば議決が前提にあると。そのことも絡んで、例えば4月、学院は来年度の開校が始まると。今の現地で開校して、途中でこちらに替わるというようなことっていうのは不可能ではないですね。確認だけ。（「向こうはちょっと生涯学習の所管でないから、ちょっと言えない。」と呼ぶ者あり）

○分科会長（浅田 徹） 正式な委員会、今進めておりますので。

○委員（村岡 峰男） はい、分かりました。

○分科会長（浅田 徹） しっかり質問は質問と。お願いします。

今のことについて、答えられますか。

澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） ちょっと今のほうの関係は、私のほうからは答えることはできません。

○委員（村岡 峰男） じゃあ、別の角度から。いいですか。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） さとうとのこれまでの話の中で、4階のゲームセンターについては年内に移設と。あとは来年の6月頃と。となると、年内に移設となると、さとうのこのゲームセンターの部分だけどっかほかに、3階から下に、その土地、用地を用意せんなんわね。その辺のところは、さとうの中では可能と言ったんですか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 2階フロアに空き店舗ができておまして、そこにゲームセンターを入れられるということ聞いてます。

○委員（村岡 峰男） もう1点だけ、じゃあ。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） それでもうしばらく言いませんので。

部長も交渉に参加をしたと、しとったということ言われましたので、どうですか、交渉事というのはね、本気で対応しますね、交渉。だから、市長は再三にわたって、さとうはこの話が、市がね、支援がなかったら撤退すると、退店するというのは本気だと、再三にわたって市長は言ってるんですけども、交渉事に成果を得ようと思ったら、必ず本気で交渉しないと相手は乗ってくれんわね。それからいったら、私が聞きたいのは、さとうの退店というのは、本気度、本当に、部長ね、本当に豊岡市が乗っていかんだら退店すると思ひながら交渉されましたか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 私も2月中旬ぐらいからこのお話に入って、さとう側と交渉してますけども、やはり4階を取得して駐車料金を下げなければ退店されるというのは本気です。何回も交渉してますけども、やはりそれはひしひしと感じておりました。

○委員（村岡 峰男） もうひとつほんなら。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 交渉事ですからね、交渉事ですから、相手にひしひしと感じるぐらいの馬力で言わないと絶対乗れへんわな。だから、それは私はどうかいなという、今もいろんな条件からいって、さとうは撤退しないだろうという思いを持ちながらおるんですけども、部長がそう思われたんだったら、それはそれでいいです。それは私はいいんですけども。

もう1点だけ、市長が盛んに言われるのは、さとうの経営支援ではないんだと、これは。と言われるんだけど、経営支援ではないんですか。最初からさとうは、駐車場が高過ぎて、値段が高過ぎて経営は大変だと。だから、何とかしてくれと。駐車料金

の値下げということで、4階の買収というのは、さとうの側から提示をされた、引き下げるための条件ですね。だから、それをのむということは、さとうの経営支援ではないんですか。私は、さとうの経営支援だと思っただけども、市長は違いますって盛んに言いはるんだけど、さとうに対する経営支援でしょう。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） やはりさとうがああのビルから出てしまいますと、当然、ビルが幽霊ビルになってきます。当然、そうすると駅前における都市機能というものが失われますし、あと当然、商業機能も衰退化していくことが考えられます。

そこで、さとうに残ってもらう策として4階の床購入、あるいは駐車料金の引下げということになるんですけども、やはり基本は、さとうの経営支援ではなくて、まちづくりのための施策と、こういうふうに感じております。以上です。（「よろしいですか」と呼ぶ者あり）

○分科会長（浅田 徹） 今の答弁に対してよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） 青山委員。

○委員（青山 憲司） すみません、これもちょっと確認なんですけども、万が一、万が一、これは、どの議員もさとうが撤退したらいいと思っている議員はいないと思うんですけども、万が一、さとうさんが駅前のアイティビルから撤退をされた、そのときの都市開発株式会社の債務自体についてはどういうふうに考えておられるのかな、債務というか、債権も含めて。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） さとうが撤退しますと、駐車料金で賄ってますアイティ豊岡都市開発です。もう当然、駐車料金収入がなくなると、今の銀行への返済ができなくなって、破綻します。破綻しますと、当然、債権として、まず銀行のほうが、今、4銀行が抵当として押さえていますので、まず、4銀行のほうが取っていきます。当然、豊岡市の貸

付けの7億円につきましても、当然、これも破綻してしまいますと、返ってこなくなるということになるかと思えます。そして、やはり最終的に、駅前再開発で建てた駐車場ビルですので、最後、豊岡市のほうに何とかしろよというような声が出るのではないかと、そうすると、また、仮に買い取ったりしますと、その運営費とか、そういったものが非常にかさできますので、さらなる市の支出が増えるのではないかというふうに考えております。

○分科会長（浅田 徹） はい。

○委員（青山 憲司） 今、市のほうの対応についてお話があったんですけども、一方で、さとうさんにとってみれば、融資しておられる債権6億円が、破綻によって、それが入らなくなると、そのことについての話っていうのは何かされたんでしょうか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） さとうさんも債権として6億円持つとられますけども、仮に出ていって、さとうさんが出ていって、6億円、アイティ都市開発が破綻して、6億円が仮になくなって、それは、もうそのときいつかで終わるので、それはやむを得ないというふうにはさとう側からは聞いてます。

○分科会長（浅田 徹） 青山委員。

○委員（青山 憲司） その6億円の債権を放棄せざるを得ないと、会社が破綻した場合ですね。そうなってしまう、当然、豊岡市も同じく、同じ痛みを味わうわけなんですけども、その後、例えば一般質問でもあったんですけども、アイティ豊岡の保有床っていうやつね、さとうさんの、そこについては当然、固定資産税も必要になってくるかと思うんですけども、そういったことはこれからもずっと継続していくというふうな考え方になってしまうんですけども、果たして、さとうさんがそういうことを踏まえて、将来的なことも踏まえて、どこまで考えておられるかっていうようなところは、今の破綻するっていうことも前提にした撤退ということの中で、さとうさんはどこまで考えておられるのかっていうのは議論されたんでしょうか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 破綻した後、当然、アイティビルももう営業してないと、ただ、先ほどおっしゃいましたように、固定資産税だけはずっと払っていかんなんというのは、それは前の山王店のときでもあったように、床を持つとる限り、土地を持つとる限り、それは払わなければならないということはおっしゃってました。それ以上のことは言われませんでした。（「もう1点だけ」と呼ぶ者あり）

○分科会長（浅田 徹） ああ、はい。

青山委員。

○委員（青山 憲司） ちなみにさとうさんが撤退した場合の固定資産税、アイティ豊岡店の、ちなみにどれぐらいになるというふうにお考えですか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） ちょっと個人情報になりますので、ちょっと控えさせていただきたいんですけども。

○分科会長（浅田 徹） 個人情報……（「議事録に残ると思う」と呼ぶ者あり）議事録……（「じゃあ、暫時休憩して」と呼ぶ者あり）

暫時休憩。

午前11時10分 分科会休憩

午前11時17分 分科会再開

○分科会長（浅田 徹） 分科会を再開いたします。

そのほかに。

松井委員。

○委員（松井 正志） いいですか。

○分科会長（浅田 徹） はい、どうぞ。

○委員（松井 正志） 3点お聞きというか、確認をさせていただきます。

さっき、青山委員の質問の中で、駐車場収入が入らなかつたら、アイティ豊岡都市開発の駐車場部分が、第三セクターが倒産しそうだということで、その責任が市に来るというふうな発言をされましたけれども、私はそれ認識間違いだと思います。まず、出資者、出資者が責任取るべきじゃないかと思うんですけども、それについてはいかがでしょうか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 出資者、大口出資者が豊岡市とさとうになってきます。その2つで……。

○委員（松井 正志） だから、市に来るっていうのは、さとうさんと市に来るんでしょう。

○都市整備部長（澤田 秀夫） はい、まあ、さとうさんと市に来ます、88%を出資してますので、その両者で。でも恐らくそこで、さとうさんのほうはどこまで対応していただけるんかというのが一つ問題となります。どうしてもそこで、市はやはり最後、責任取れと言われたら、やっぱり逃げれないと思いますので、それで、市のほうでっていうことを言ったんです。（「それはさとうさんと一緒だって。個人で商売してるのと一緒だって」と呼ぶ者あり）

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） それをあえて市だけが責任取らんなんという認識を部長自身が持つとつたらね、判断を誤るんじゃないかと思うんですわ。だって、さとうさんだって、地元でいろんなところに店舗持っている企業でしょう。その方が、あそこで自分は知りませんというようなことで逃げられたらね、評判であるとか、社会的信用だとか、相当、そんなことは許されない状況になると思うんですけども、それ分かりませんか、その理屈は。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） はい、確かに松井議員おっしゃるように、やはりそこで逃げてしまったら、当然、今まで商売してきた信用とかいうのがありますので、それは、まあ、おっしゃることはよく理解できます。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） それは認識をね、市だけに来るという前提で物事を考えられたら、全てが違う方向に自分で誘導しちゃってしまいますので、ぜひそれは原則を考えていただきたいと思います。その原則の中で、現在も資本金が1億8,100万円だと思います。ちなみに1株あたりは、現在、時価で幾らでしょうか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 1株、5万円です。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） 社長は2株持ってるっていうことなんですけども、社長のほうのお話、誰とは言いませんけども、金を払った記憶がないということ言われとる社長さんがいらっしゃいます。ということは、会社で負担してるのか、どこで負担してるのか、ちょっと分かりませんが、本来は、本来は社長になる、一般の会社ですよ、本来、一般の会社では、社長になるために株主にならなければならなかった、自分でお金を出されると思うんですけども、今回、アイティの場合は、自分で金を出されていないというふうな懸念があるんですけども、そういう情報だとか、事実とか確認されてませんか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 今の社長が、アイティ都市開発株式会社の社長が株主になっておられます。ただ、前の社長から名義が変わっただけかというふうに私は思ってるんですけども。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） 澤田部長も取締役ですから、経理のほうは責任があると思いますけども、じゃあ、そのね、10万円の株主はどこで経理されてますか、会社上、個人が、例えば誰かが買われたのを名義かけられておられるのか、それとも、そうではなくて、会社の所有しているものを回されてるのか、分かりますか、分からなかったら、まあ、いいですけども。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） ちょっとそこまでは把握しておりません、すみません。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） 結構です、そういうふうな話があるという事実だけは、また理解しておいていただきたいと思います。

それから、一般質問の議論の中で、アイティの駐車場、坪当たり1万7,100円でしたかね、あの金額と、それ以外の市内のアイティ、もとへ、さとうさんの駐車場の4,000円という比較が出たんですけども、アイティの場合は、先ほどの委員長の発言の中にもありましたけど、一等地で土地の単価

も高かったと、駅前あたりは、そういう状況であると、単純に4,000円と1万七千幾らを比較するっていうのはそもそもおかしいんじゃないんですか。1万7,000円っていうのは、その周辺の、駅前周辺の価格が反映した価値であれば、単純に比較したら、それは金額は差が出てしまいます。もちろん4,000円と比較したら高いのは高いと思いますよ。だけど、そういう配慮した上で資料を説明しないと、一方的に自分たちの有利なような資料作成であり、誘導ではないかと思うんですけど、それについていかがでしょうか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） やはり駅前で一月止めようと思ったら、今のアイティの駐車場でも一月やっぱり8,000円取ってます。まあ、8,000円から1万円ぐらいだと思います、周辺でも。ですから、それと比べますと、やっぱり1万7,000円というのは高額であるというふうに思います。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） もちろん高いとも分かってますけども、ただ単純に4,000円と1万7,000円の比較して、その差が幾らというふうな説明されましたわね、私はそれは数字のトリックというんか、議員を欺いとるとは言いませんけども、ああ、議員だとこの程度の資料でいいなというふうな程度で作成されてるように、あるんですけども、そう思いませんか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） あくまでも、実際の価格に基づいて比較をしておりますので、決して、議員さんに対してこのぐらいな説明でいいわとかというようなことは決して思っておりませんので。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） 最後の質問です。

8月17日の全員協議会のときに、議員のほうから要求をした資料の中に、組合員の状況、床所有者という資料があったと思うんですけども、それ記憶されてますね。私、これについてどういう性格のものかというの、二、三週間前に部長に聞いたと思

うんです。それをいまだになつて、まだ説明を聞いてないんですけども、その態度についてはいかがでしょうか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） レターケースのほうに文書としてつけて入れさせていただきましたけれども。今の区分所有の関係の説明をペーパーで入れさせていただいてますけど。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） レターケースの前に見たことを、議長と副議長は、そこに入れずに机の上に置けっていうふうな指示があると思うんですけども。（「それは全員か、我々もおったんか、全員に」「それはでも事務局が置いてるんだろ」と呼ぶ者あり）

渡ってないんで一般質問でも取り上げられなかった内容があるんです。これからちょっとそのことを申し上げますと、現在、さとうさんは、500の議決権数のうち215、ほんで、アイティ豊岡都市開発が125、豊岡市が61ですね。500のうち、さとうさん、藤屋さんが215を占めておられますので、大株主、大議決権数か、この議決権というのはそもそもどういう性格のものですか、その資料を見てないんで、回答の資料を見てないんで、そのことをまず説明してください。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 区分所有、区分所有法による第3条により……（「38」と呼ぶ者あり）ああ、38条、すみません、区分所有法第38条によって、議決権の割合というものが決められております。基本的には、持っている床の面積に対して議決権数というものが配分されます。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） その議決される内容というのはどういう項目についてされますか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 今のアイティ管理組合法人の中でのいろんな決め事について議決されるというふうに認識してます。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） ということは、アイティのビル、いわゆる立体駐車場以外の建物についての運営であるとか、改築であるとか、そういうことを決められるというふうな内容、運営そのものについて決められる内容ということでよろしいですか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 範囲としましては、商業ビルと駐車場ビルも含めて対象となります。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） なら、ビルと立体駐車場全てということですか、分かりました。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） 今回の4階を取得すると、市はこの議決権数はどのぐらい増えると予測されていますか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） ちょっと今、61あるんですけども、ちょっと詳細などこまでは今、分かりません。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） 大体これ、7階の部分が61だろうと思いますんで、そうなると、4階を全部ではないということであれば、例えば50ぐらいだしたら、そうですよ、111ぐらいになります。一方、藤屋さんは215から50が減ると165ぐらいになります。これを、この事実というのはね、要するに藤屋さんの議決権数が減って、市が増えます。さらに、市は、先ほども部長があったように、第三セクターについての責任も、さとうさんと対当と言いながら、余分に負担せんならん気持ちを持っておられるということはね、125を加えて、それから61加えて、50加えると、相当な割合になりますね。さっき言いましたように、この組合法人の議決の意味というのは、アイティの建物と、それから立体駐車場全体を管理するという性格を持ってるのであればね、市は、今回取得することによって、さらに責任が増えてくるんじゃないですか。市長は、今回の取得によって、4階取得によって、アイティの経営には全然関係しませんということを明言さ

れましたけども、この事実だけ見ると、責任が増えてくる、負わされるんじゃないですか、そういう認識はありませんか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） はい、確かに4階を取得することによって、議決権数は当然増えてきますので、そういった責任は当然増えると思います。

それと、先ほどのアイティ都市開発の株、株の関係と、ちょっとこの今の床のとはちょっと別だと思えますので。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） 厳密に言ったら別ですけども、要するに都市開発が持つてる125と市の現在61と、それから50増えたら、それを加えた分と、藤屋さんの分が減るというのを考えるとね、市の責任が自動的に多くなる、責任を負わざるを得ないような状態になってくると思うんですわ。ほんで、一般質問で、市長は、アイティ建物そのものの経営の問題だから、市は全然関係ないと言っておられますけども、これだけ見ても、責任を負わざるを得ないような状況になってくるというふうに思うんですわ。思われませんか。ああ、さっき思うって言いなつたな。と、以上で終わります。こういう事実だけでいいです。

○分科会長（浅田 徹） 今のはよろしいか。

○委員（松井 正志） ああ、いいです、いいです。

○分科会長（浅田 徹） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 青山先生がでも……。

○委員（青山 憲司） ああ、いいですよ、先に、先に。

○委員（椿野 仁司） いいですか、たまには言わせてもらわんと。

○分科会長（浅田 徹） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 担当部長も道やら橋やら遊具が動かないとか、商業まで大変だわ、本当に、ご苦労さん。

それだけ言って終わるつもりはありません。いろいろと思う、考えるっていうことはそれぞれの議員もそうだし、市もそうなんだろうけども、まあ、こ

れ正直言って、さとうがね、市に相談かけずに、5
1億円も累積があって、赤字があって、昨年度が2
億5,000万円か、赤字だけで。もう私だったら
退店しますね、やっとなれんわと思って。そしたら
ね、これ、大きな問題になってますよね。もう例え
ば幾ら、幾つか相談したけれども、無理だと言われ
た、退店しちゃうね、さとう退店したら、もうあそ
こ潰れちゃうよね、うん。そう思いました。これも
思いますで終わりです。

ちょっと今の子育ての支援の関係になると、ここ
ではちょっと一緒じゃないと思うんだけど、ちょっ
と確認したいんだけど、いずたやを、あれを取得し
て、生きがい創造学院をつくるといったときに、た
しか合特債だったよね、あれを使うということだっ
た。それで、今回、あれをちょっと形でも残さない
といけないんで、残さないと合特債というものが受
けられないというようなこともあって、でも、いろい
ろと市のほうは努力してくれて、知恵を働かせて、
まあ、あそこを平地にしても公園という形で交流広
場ということで、それで本当にうまくいくんだっ
たら、そうにこしたことはない、私はそれでいいと思
うんです。

もう一つは、今、例えば4階を取得することの、
その今、今、この108号議案でやってるんだけど、
これが遅れることによって、例えばさっきもあつた
よね、生きがい創造学院のほう、子育て関係は、さ
っき、最終的には6月ぐらいに全て出でてもらっ
て、でも、この計画が、乗せようと思った場合に、
9月で例えば間に合わなくなって、例えば12月っ
ていったときに、このいわゆる地方創生、たしか地
方創生交付金か何かっていう話があったと思うん
だけど、それは国に対して申請するのは、それは間
に合うの、間に合うのっていうか、準備が整ってい
るんですか、今のこの遅れちゃった場合はどうなっ
ちゃうの。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 今のスケジュールで
は、子育て支援の構想策定を12月までに固めて、
国に地方創生交付金の申請を、1月に計画書を出さ

なければなりませんので、遅れてしまうと、当然、
国への地方創生の申請もできなくなりますので、そ
ういうことになります。

○委員（椿野 仁司） そういうことになりますって
……。

○分科会長（浅田 徹） 椿野委員。

○委員（椿野 仁司） だから、その地方創生の交付
金が受けられないということは、何かほかにまだ知恵
を出せばいいんだろうけども、市としては有利な、
いわゆる不利益なことじゃなく、不利益を講ずる場
合があるということですか。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 今も地方創生の交付
金は、事業費の50%に当たりますので、それがな
くなるということは、例えばほかの合特債を入れる
にしても、やはり市としてはそんだけ負担は大き
くなります。

○委員（椿野 仁司） はい、分かりました。

○分科会長（浅田 徹） かなり、ああ。
村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 確認方々2点ほどお尋ねする
んですが、アイティ都市開発のいわゆる破綻回避で、
破綻だって言ったら、市長が違うって、こう言っ
たもんで、破綻回避、そのときに600万円、豊岡市
は、ああ、600じゃない、6億円、7億円の劣後
債権化に踏み切って、そのときに駐車料金について
も見直しがありましたよね。その後、今日までに、
駐車料金については2回見直しがされてますね。

（「4回」と呼ぶ者あり）今日までに。1回は、駐
車料金引下げのために豊岡市が追加で500万円
かな、毎年負担をするというのと、もう1回は、さ
とうの駐車料金の引下げのためだけにある支援を
するということがあって、私は、今回が3回目の、
破綻回避後ですね、駐車料金の引下げ要求ではない
のかなと思うんですが、まずそのことを確認させ
てください、その500万円ずっと、今もプラスにな
っとるんですね。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） まず、駐車料金の推

移なんですけど、ちょっとそれから説明させていただきます。

まず2002年の8月に基本合意を行いました。そのときに、藤屋は坪単価2,700円、藤屋以外の各専門店というのが2,300円でスタートしました。それが、2009年、平成21年ですけども、ここで専門店だけを2,300円から1,900円に下げています。この専門店というのはテナントさんのことでございます。テナントだけが……（「藤屋のテナント」と呼ぶ者あり）いえ、藤屋のテナントじゃないです。一般の方が床を持つとられて、その上に店を出しとられる方です。藤屋以外の床に店を出しとられる方の分を下げます。それから、平成23年、2011年なんですけれども、このときに、藤屋の中でもテナントとなっている分、この分について値下げをしております。それと同時に、先ほど藤屋以外が持っているテナントの方もまた値段を下げております。このときに、豊岡市の駐車料金600万円から、この年は700万円なんですけど、これは、本来なら400万円を上げるとこだったんですけども、1月、2月、3月、その3か月分だけ、4分の1の100万円を上乗せしています。次の年から、豊岡市は1,000万円の駐車料金払ってます。この400万円増えたことによる、これを原資として、先ほど藤屋の専門店、それと、テナントなんかの料金を引き下げしています、それを原資として。

○委員（村岡 峰男） 何ぼになったの。

○都市整備部長（澤田 秀夫） こういった経過があります。

○委員（村岡 峰男） 2,700円が何ぼに。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 1,500円になっています。

○委員（村岡 峰男） 2,700円が1,500円。

○都市整備部長（澤田 秀夫） いやいや、2,700円が、いや、2,300円が……。

○委員（村岡 峰男） いや、専門店はね。

○都市整備部長（澤田 秀夫） ああ、すみません、藤屋の専門店が、2,700円から2,200円になっています。それから一般の専門店が、1,900

円から1,500円になっています。

ちょうどこの今、ご説明した資料については、皆さん、議員さんのほうに……（「配付したな」と呼ぶ者あり）はい、配付はさせていただいております。ちょっとその説明です。

それと、平成28年、2016年なんですけれども、このときは、改定をしてるんですけども、これ、消費税を除いた額で変えていますので、実際、金額の、どういうんですか、上がり下がりはありません。そして、令和元年に初めて藤屋、藤屋の分が2,700円から2,572円に、ああ、すみません、初めて、税抜きの2,572円から2,381円に変更となっています。

ですので、全ての藤屋、藤屋の専門店、それからテナントの方が全て4回変更になったというわけではございません。

○委員（村岡 峰男） 藤屋、さとうの要求に基づく変更は3回ということだな。

○分科会長（浅田 徹） ほかにありませんか。青山委員。

○委員（青山 憲司） すみません、もうこれで最後にしたいと思うんですけども、これも確認なんですけども、平成14年、会社再建当時、豊岡市は、社長と監査役の報酬を負担するというふうな話があったと記憶してらるんです。それは現状、どうなってるのか、そのときに、もうしないという話で、もう三セクのほうでその報酬は賄われているのか、あるいは市が負担しているのか、その点についてちょっと確認をしたいと思っております。

もう1点、もう1点は、今日配られた資料で、この所有者別の駐車料金を見ますと、これちょっとさっき計算したんですけども、これでいくと、一般質問でも答弁された駐車料金のさとう分の軽減額が大体8,200万円でしたっけ、9,600万円でしたか。8,200万円ね。ところが、これを見ると、さとうのこの駐車料金を比較すると、4,856万円にしかならないんですけども、残りの分はどういうふうに理解したらよろしいんだろう。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

- 都市整備部長（澤田 秀夫） 維持管理費の分が入ってきますので、維持管理費と修繕積立金が上乘せされてますので、これは駐車場以外には、そういった管理費、修繕積立てがありますので、合計8, 200万円の減額となります。
- 委員（青山 憲司） 駐車料金に関してですね。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） はい、これは駐車料金に関してだけです。
- 委員（青山 憲司） いやいや、いい、よろしいですか。
- 分科会長（浅田 徹） ああ、今の答弁に対して。青山委員。
- 委員（青山 憲司） アイティ駐車場の料金は、年間9, 600万円の割高だというふうに言われてるんで、そのうち8, 200万円、駐車料金の、じゃあ、維持管理費とか、そういったもんが余分に要るっていうことね。
- 分科会長（浅田 徹） 澤田部長。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） 駐車料金が9, 600万円割高だっているのは、周りの平地にある店舗と比べたら9, 600万円割高になっているということで、議会を出しております資料の8, 200万円というのは、平成19年度の支払い額と、今度見直した額の平成19年と平成21年の比較で8, 200というのが出てますので、ちょっとそこが違うところです。
- 分科会長（浅田 徹） よろしいか。青山委員。
- 委員（青山 憲司） ちょっと分かんけど、この今日もらった資料で、さとうさんの分だけをちょっと計算すると、今年の4月で1億1, 993万7, 047円が、今度台数が減ることによって7, 137万4, 980円になりますよね。これは、今のさとうさんにとって駐車料金の減額分というふうになって、それが4, 856万円になるんですけども、その8, 200万円との差についてちょっと確認したいんですけど。
- 分科会長（浅田 徹） 澤田部長。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） 先ほど言いましたよ
- うに、管理費、管理費と修繕積立てが、床面積が少なくなることによって減ってきますので、それがオンされます。
- 委員（青山 憲司） その分入ってるということ。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） はい、そうです。それと、社長の給与の件ですけども……。
- 委員（青山 憲司） 監査役とね。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） 監査役と。全部このアイティ都市開発の中で支払われていると。
- 委員（青山 憲司） 会社の中で支払われてる。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） 会社の中で、はい、市から払ったりはいたしておりません。
- 分科会長（浅田 徹） 松井委員。
- 委員（松井 正志） すみません、ちょっと申し訳ない、1点、借入金の返済の関係なんですけども、現在は金融機関に返されてると思うんですけども、青山議員が、決算だったかな、今回かな、資料要求されとる借入金返済関係という資料があるんですけども、それは持つとられますか。それでもいい、何でもいいんですけども、現在、金融機関には幾らずつ返されてるかっていう、何かそれを教えてほしいんですわ。まあ、青山議員に聞いたほうがええかな。
- 委員（青山 憲司） え。
- 分科会長（浅田 徹） 澤田部長。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） 金融機関への返済額なんですけども、日本政策投資銀行……。
- 委員（松井 正志） 合計でいいです、はいはい。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） 合計でいいですか。
- 委員（松井 正志） 3年に何ぼとか、そういう感じで、もし分かったら、数年度が分かったら。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） はい。これ、平成29年度に借換えをしてますので、平成29年度から6, 080万400円、6, 080万400円を……。
- 委員（松井 正志） 金融機関全体ですね。
- 都市整備部長（澤田 秀夫） はい、そうです、全体で。それを2029年までに返します。
- 委員（松井 正志） ああ、2029までずっと定

額ですか。

○都市整備部長（澤田 秀夫） はい、そこまですつと定額です。6,080万400円を2029年度まで返しまして、最後、2030年に1,164万3,600円、これを返済して金融機関への完済となります。その翌年から、豊岡市とさとうへの返済開始ということになります。

○委員（松井 正志） 委員長、もう一つ。

○分科会長（浅田 徹） 松井委員。

○委員（松井 正志） ちょっと僕、お恥ずかしいんですけどね、アイティの決算書の中でこの六千幾らのお金っていうのはどこに支出のあれは入ってますかね、一般的に公表されとる決算書の中では。損益計算とか、販売及び一般管理費なのか、そういうところに入るとるんですか、それとも、全然入ってないところに上がるとるんですかね。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 決算の中の貸借対照表をお持ちですかね。（「はいはい、持ってます」と呼ぶ者あり）その中の負債の部、流動負債ということで、短期借入金6,080万……。

○委員（松井 正志） ああ、これか、ああ、なるほど、なるほど、分かった、分かった。

○都市整備部長（澤田 秀夫） はい、ここに入ります。

○委員（松井 正志） はい、了解です。はい、分かりました、はい。

○分科会長（浅田 徹） いいですか。（「はい」「最後だって言いなっちゃうん」「思ったんだけど」と呼ぶ者あり）

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 交渉に参加をされた部長になんですけども、さとうの累積赤字五十何億だったのかな。年々も赤字があるんだけども、さとう自身がつくってきた赤字というのはね、アイティができたときには、バザールなんていうのなかったと思うんですね、バイパスも九日市も、あちこちの。同時に、その当時はトヨダというスーパーが豊岡の中には結構あって、そのトヨダのスーパー全部、事実上さ

とうが買収してね、今はもうさとうもトヨダもあらへんと。したら、バザールでその4,000円という駐車料金を比較しとんさるんだけども、バザールやあちこち展開したそういう店舗の売上げ、そちらは全部黒字だっていうわけでしょう、ほとんど、アイティ以外は黒字だっていうんだから。そうすると、さとう自身がそういう店舗を展開したことが、アイティにおける赤字の要因の一つであるという分析はさとうはしとんさる、しとんさらへん。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） そこまでは把握は何も聞いておりません。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） それ、この20年弱で小売市場の大変化というのがありますけども、その中で、さとうが、それはいろんな努力されたと思います。努力をされて、努力をされて、バザールの店舗開店もその一つだと思うんですけども、そのこと自体がアイティにおける赤字を増幅するという結果に、結果的にはなるとるんですね。

それから、それを、これまでに駐車料金の引下げ等々も何回かあって、下げてきた。駐車料金が高い、今度また、この4階の買収と駐車料金の引下げの提案で、応じたらね、小売市場の大変化で5年後、10年後は分からへんって言われるけども、5年後、10年後に厳しいと、今度は3階の買取りを求められたら、豊岡市はどうするんだろう。そんなことは考えてないの。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） また赤字が続いたらと、3階の買取りについては今回、駐車料金を下げることによって、これまで、さとうさんの赤字の大きな要因は高い駐車料金を払ったのだというので、今回、4階を買ったりしてますけれども、今度、例えば赤字になったから、3階を取得してくれと言われても、今度は、さとう側から市に対して正当な理由ではないと思いますので、それはもう自社の営業の話ということで、そういった、こちら、豊岡市からしても、買い取るような理論にはならない

というふうに思います。

○分科会長（浅田 徹） よろしいか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） それは、さとうの思われるのは自由ですけども、正当な理由があるかどうかよりも、商売として成り立たないと、こう言われたら、あそこでね、成り立たないからって言われたら、それも正当な理由でしょう。私はそう思うんで、商売人としてね。まあまあ、よろしい、まあ、はい。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） やはり駐車料金が、今までは駐車料金が原因でした。その駐車料金の原因というのをここで1回取り払ってますので、たとえばもう赤字になっても、それはもうさとうさんの責任というふうに思います。

○分科会長（浅田 徹） よろしいか。（「私は最後だと言ってませんので、まだいいですか」と呼ぶ者あり）

椿野委員。

○委員（椿野 仁司） 村岡さんからありいの、一般質問でもありいの、いろんなところで、村岡さんというのは今の委員会です、委員会でも発言があったんだけど、その単なる企業支援ではないかっていうことを論じられとるんで、私はそうではないという認識がある、思いを持ってるんで、さっき言ったような思い思いなので、それは正論というつもりは全くないんですけど。ただね、全員協議会、8月17日の全員協議会の資料にアイティ4階フロアの取得と、子育て支援総合拠点等の整備についてという資料をいただいたときに、結論と、その次の提案の背景、概要っていうのがあるんですよ。ここにね、2019年10月の株式会社さとうが、全部は読み上げませんが、さとうから豊岡市の支援が得られるのであればということで、その結果ということで、駐車料金を2,381円、1坪、月から、1,800円に下げてということが条件に上がってますね。それであれば、さとう豊岡店の営業を継続することで、関係者さんの合意が得られたというふうに、こういう資料をもらってます。それを今の企

業支援だというふうに受け止めている人と、私は別にそういう、大意で言えば、豊岡市全体のことからいけば、駅前再開発や豊岡、取りあえずいろんな今の現状を考えると、単なる企業支援ではない、豊岡市が大いに関わった、このアイティを構想で練った時代でのことを背景にすれば、こんなもの、浅田さんじゃないけど、私はそこまではようしゃべりませんけれども、でも、基本的にはやっぱり当初豊岡市が計画した計画なので、それにさとうと一緒にやってこられたということから考えれば、僕は、双方ともにやってという考え方でいけば、ここの文章についてだけを捉えれば、何も企業支援じゃないと思うんだけど、それについてはいかがですか。まあ、同じ考えだと思うんだけどね。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） やはり議員おっしゃるように、駅前再開発事業からずっと続いてきておりますので、あくまでも、先ほども言いましたけど、都市機能と商業機能を維持するために必要な建物と、アイティ自体が必要な建物、施設というふうに認識しておりますので、議員と同様、企業支援というようなことは思っておりません。

○委員（椿野 仁司） 何回も同じことなのでやめます、いいです、もう。

○分科会長（浅田 徹） かなり時間を割いて、それぞれ質疑していただきました。時間の関係で止めようとはいたしません。

さらに何かこれだけはというふうなことがあれば、まだ全然、私は止めるつもりはありませんので、忌憚のないやっぱり質疑を……（「いいですか」と呼ぶ者あり）ああ、結構ですよ。（「いいですか」と呼ぶ者あり）はい、どうぞ。

○委員（青山 憲司） なら、最後に私、確認させてもらいます。

今の、企業支援ではないというところのお話がありましたので、9月10日の議員配付資料で、私、市長にも議員の懇談会の席で言いましたけれども、さとうさん自身は、純粋にさとうの経営に起因する赤字幅は2億6,000万円のうち1億6,400

万円であるという、これは、さとうさんが経営に起因する赤字2億6,000万円のうち、これをあると言える。さとうの最大の要望は自身の責任に属することが明白なこの部分に関したものでなく、駐車料金が割高であることに向けられていると、ねえ、2億6,000万円のうち1億6,400万円は、さとうさんの経営に関する赤字だというふうに、これは認められとるということですよ。

であるならば、9,600万円の赤字圧縮についての対応だけすればいいというふうに思うわけなんです。さとうさんが自身の経営に関する赤字は1億6,400万円だと言っておられるのであれば、駐車料金に関する議論だけすればいいことであって、4階フロアの取得に関するところまでというのは、むしろ経営に関するところの部分だというふうに、私はこれを見て読み取るんですけども、違うんでしょうか。

○分科会長(浅田 徹) 澤田部長。

○都市整備部長(澤田 秀夫) 今のさとうさんの減らす額を駐車料金だけで対応しようとしても、アイティ豊岡都市開発の駐車場経営のほうが成り立たなくなりますので、そういったことでやはり4階フロアの取得と抱き合わせをしないと対応できないという、こういうことになっております。

○分科会長(浅田 徹) 青山委員。

○委員(青山 憲司) その今回のやり取り見てると、4階フロアの買取りは、さとうさんからお話ですよ。であるならば、何でここにさとうさん自身が、駐車料金が割高であるというふうにされてるのであれば、4階フロアというのはこの時点で出てこないというふうに私は思うんですけどね。出てくるのであれば、駐車料金と4階フロアがセットで、一番最初から要望として出てくるっていうのが、私は筋じゃないかなと思うんですけども、違うんでしょうか。

○分科会長(浅田 徹) 澤田部長。

○都市整備部長(澤田 秀夫) 結局、先ほども言いましたけども、最初は駐車料金では対応できないということで、ここに書いてある文章は、駐車料金の

ことしか書いてないので、議員さんおっしゃられるの分かるんですけども、結果として、やはりもうセット、駐車料金と4階取得がもうセットということしか対応できないという結論になりました。(「よろしい、もう」と呼ぶ者あり)

○分科会長(浅田 徹) 青山委員。

○委員(青山 憲司) 市から提案した1,500円、坪、月坪の話がありましたけど、このときは4階フロアの購入というのは入ったんでしょうか、そのアイティの三セクがぎりぎり、ぎりぎり採算ベースに乗るところで提案をされた1,500円というのは、4階フロアの購入も入ったんですかね。

○分科会長(浅田 徹) 澤田部長。

○都市整備部長(澤田 秀夫) 4階フロアの購入も入ってました。ただ、もう少し範囲は小さい範囲です。具体的にどの辺りまでということまではいってないですけども、4階の一部を購入というのは入ってます。

○分科会長(浅田 徹) いいですか。

○委員(青山 憲司) 確認です。そのときに、そのときに結局、今のさとうさんの赤字幅を駐車料金以外で埋めるというふうな確認になってしまってるんじゃないかというふうに私は思うんです。そこだけちょっと申し上げたいと思います。(「いや、よろしいかな」と呼ぶ者あり)

○分科会長(浅田 徹) いや、質問、質疑。

○委員(上田 倫久) 質問というわけではないんだ。いいですか、ちょっと言っても。

○分科会長(浅田 徹) ああ、どうぞ。

○委員(上田 倫久) 今のところで、520万円の予算のうち320万円が子育て支援総合拠点の構想策定業務となつとる。4階の間取りだけで終わるのではなくて、やっぱりアイティという、これに対する1階から7階、その商業施設全体で考えてもらうことができないのか。そして、その子育て総合拠点と生涯学習サロンとの整合性を取って、将来にわたって利用が続くように予算を含めないというようなことをちょっとお聞きしたい。

○分科会長（浅田 徹） 澤田部長。

○都市整備部長（澤田 秀夫） 今回の予算320万円は、4階と7階を含めた、7階を含めての構想策定になっておりますので、当然、7階にある今の子育て総合センターを4階に降ろしてきます。当然、7階が空いてきますので、今度、そこもどういったものを入れるのが、今の市の施策に対して、どういったものかということを検討してまいりますので、あくまでも4階だけの計画ではございませんので。

○分科会長（浅田 徹） どうでしょうか、非常にアイティに集中するのはよく理解できます。

ほかにそれぞれの課から、補正について出ておりますけれども、そういう、それも視野に入れながら質疑していただけたらなと思っておりますけど、ほかは、何か、そういう面ではないということによろしいですかね……（「仕切り直して休憩」「休憩」「1時からにしよう」と呼ぶ者あり）

暫時休憩します。

1時間、もう少し、特に質疑まではちょっと深めておきたいなと思います。今、時間が少し延刻することをお許してください。

ほかに質疑ございましたら。

○委員（椿野 仁司） 委員長、休憩もあれなんで、また質疑もまだあれば、重複しないように、また新たな質疑があれば、やってもらったらええんで、その後休憩しましょう、大事なことなんで。

○分科会長（浅田 徹） 非常に、質疑を止めることは考えておりません。非常に重大な課題を今、審議しておりますので。

それでは、ここで建設経済分科会、暫時休憩いたします。再開は1時。

午後0時00分 分科会休憩

午後0時58分 分科会再開

○分科会長（浅田 徹） それでは、午前中に引き続き、建設経済分科会を再開をいたします。

まあ、質疑の継続中ということですよ。

どうでしょうか、皆さん、ほかに質疑。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） それ以外のところでいいですか。

○分科会長（浅田 徹） これは限ってしておりませんので、どうぞ。

○委員（村岡 峰男） 179ページの、僕の聞き間違いだったらいんですけども、太陽光発電の関係で補助金がありますね、200万円、これは蓄電池の交換だっていうふうに言われたような気がするんだけど、別か。個人向けの太陽光発電に、個人の太陽光発電に蓄電池の交換でなぜ補助するのかなと思って、聞き間違いか。

○分科会長（浅田 徹） コウノトリ共生課、宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 個人住宅に対して、太陽光パネル及び蓄電池の新設、設置する際の補助でございます。今年は、蓄電池の申請件数が前年、前々年度に比べてかなり増えてきているということでございます。

○分科会長（浅田 徹） 村岡委員。

○委員（村岡 峰男） 個人で発電装置をつけてますね、その補助と蓄電池っていうのはセットのものですか。

○分科会長（浅田 徹） 宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 太陽光パネルだけを設置する家庭もあれば、蓄電する蓄電池とセットで設置するご家庭、それは、そのご家庭によって様々でございます。

それから、以前に太陽光パネルを上げておられて、新たに今度、蓄電池だけを導入するというご家庭もあります。

○委員（村岡 峰男） その場合も補助対象になるんだ、蓄電池が。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） その場合も補助対象になります。新規の蓄電池設置ということで補助対象です。以上です。

○委員（村岡 峰男） なるほど、分かりました。

○分科会長（浅田 徹） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(浅田 徹) ほかにありませんか。(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

村岡委員。

○委員(村岡 峰男) 質疑の中でもしつこいぐらいに言ったんですが、私は、最初に聞いてから、8月11日に初めてこの案件を聞いて、1か月ですね、市民の皆さんの意見も聞きたいし、さらに状況もつかみたいし、我々自身のこの思いや疑問やら、まだ十分晴れないということもあって、このさとうの4階買収と駐車場そのものの、特に4階買収ですね、については、この議会で今、ここで賛成というわけにいかないと。私どもは、予算決算委員会に今、修正案も準備をしてるんですが、この案件としては、その修正案の準備ということも含めて、同意をすることはできないということを申し上げておきます。

○分科会長(浅田 徹) ほかにありませんか。

上田委員。

○委員(上田 倫久) 私は、この原案に賛成の立場で意見を言います。

先ほども言いましたが、520万円の予算のうち320万円が子育て支援総合拠点の構想策定業務とありますので、4階の間取りだけで終わることなく、このアイティという商業施設全体を考える中で、子育て総合拠点と生涯学習サロンとの整合を取り、将来にわたって利用が続くよう構想予算としていただきたいと思います。

これは説明責任ではございますけれども、なかなか納得のいかないところとか、質問とかたくさんありました。その議員の意見と助言とかを聞いていただいて、議会に対して逐一報告をしていただくことを強く要望いたします。

今回のアイティ4階フロアの取得と子育て支援総合拠点等の整備については、都市計画マスタープラン、平成31年3月策定の土地利用方針で、JR豊岡駅を中心とする中心拠点では、地域の特性を生かし、商業、居住、教育、文化、医療、福祉等の都市機能の維持及び充実に図り、にぎわいの創出とと

もに高齢者や子育て世代も含めた多様な世代が、潤いと安らぎのある環境の中での暮らしの推進が示されており、まちづくりの観念からも整合が取得されており、しっかりとした子育て支援総合拠点と構想策定に期待をします。で、賛成討論といたします。

○分科会長(浅田 徹) ほかにありませんか。

青山委員。

○委員(青山 憲司) 私から、今回、建設経済分科会に審査された、審査を分担された108号議案、令和2年度の豊岡市一般会計補正予算(第11号)のうち、子育て支援総合拠点等整備事業費520万円の増額及びその財源補填並びに債務負担行為補正、子育て支援総合拠点整備事業費3億2,500万円について、次の理由によって皆減し、それ以外の予算補正については提案どおりとするよう修正する必要があるから、第108号議案については反対をします。

その理由について申し上げたいと思います。

まず、先ほども質問しましたがけれども、9月10日配付の資料において、純粋に株式会社さとう自身の経営に起因する赤字幅2億6,000万円のうち、駐車料金の赤字幅、約9,600万円を除く1億6,400万円がさとう自身の経営に起因する赤字であると。さとうの要望は、自身の責任に属することがない、ことが明白なこの部分、要するに駐車場以外に関したものでなく、駐車料金が割高であることに向けられているとあります。この点に関して、当局に確認したところ、4階フロアの運営自体はさとう自身の経営に関する赤字分と理解できるとの回答でもありました。

そのことが示すとおり、さとうにとっては、不良債権部分の4階が処理できることで、大幅な赤字の削減が可能となります。よって、今回の焦点は駐車場料金の見直しそのものであって、さとう自身の経営に起因する赤字部分は4階フロアそのものにあることが明白であります。

さらに、豊岡市にとって財政の危機が声高に叫ばれる中、4階部分の駐車料金と管理費合計が、毎年4,180万円発生するとともに、4階部分の固定

資産税の22年分の減少幅8,140万円及び子育て支援拠点整備事業費5億6,450万円に含まれる合併特例債の市の負担分及び一般財源2,850万円を加えると、アイティ都市開発株式会社破綻による損失とは必ずしも一致はしない。豊岡市にとって、今後22年経過以降も、駐車料金3,058万円及び管理費3,740万円、合計6,800万円を支払い続けなければならない状態が続き、将来世代への負担も大きくするものであります。

さらに、本市が進めている公共施設再編計画においては、公共施設の床面積を、今後40年間で34%削減することを目標に掲げております。今後40年間で、総額1,828億円、年間約46億円もの財源が必要とされる中、現状では22.1億円しか手配ができず、25億円もの財源不足を来すことが明らかな状況において、今回のアイティ4階フロアは既に存在する、先ほど子育て広場の充実とありましたけれども、既に7階に子育て広場がございます。また、旧いずたや跡地の生涯学習サロン整備のために取得した経緯からはやむを得ない、真に必要な施設なのか大いに疑問であり、余分な施設取得が本当に必要なのか。

重ねて、大型複合商業ビルアイティ自体も、1997年11月の開業以来、23年もの時間の経過によって、施設設備の大規模修繕時期が来ており、資金面では空調や電気設備に5,510万円、外壁等修繕に1億8,900万円が必要となるなど、修繕に伴う負担金や管理費の増加は、4階フロア購入と同時にその負担が重くのみしかかることは明白であります。

さらに今回、株式会社さとうの経営に大きく関与することとなる結果を受けて、今後のさらなる要求を受けざるを得ない状況を懸念する議員が多いことも今回の一般質問等のやり取りで確認ができました。また、公金支出の在り方、公平性や債権者間の合意形成の状況など、改めて確認すべき事項も多くございます。

今、議会として、これらの重要な事項を確認しないままに提案内容を通すことは、議会機能を果たす

ことなく、予算を認めるということになる。生涯学習サロンについては、文教民生委員会において審議をされ、ここでは申し上げますが、ここ数か月で当初計画が猫の目のように変わる状況にあって、数か月の遅延が許容範囲ではないとは思えない。

今回、数名の議員がアイティと同様の他市の商業施設を視察しております。私も見てまいりました。私が確認したときは土曜日で、市が所有するフロアの事務所が閉鎖されていて、子育て支援施設や図書館が開館しているだけで、土曜日であっても、市民によるにぎやかさを感じるころまではありませんでした。

最後に、この当局提案が議会修正に至り、さとうがアイティ豊岡店の撤退を決断されることを望むものではありませんが、万が一にもそうした事態が発生した場合は、議会としても重く受け止め、応分の責を負う覚悟でこの課題に臨まなければならないことを付け加えておきたいと思っております。

当局も議員も限られた時間の中で真剣に検討されてきたと考えるところではありますが、依然大きな、多くの大きな課題を踏まえ、もう少し時間をかけて深い議論をする余地があるものと考えます。

よって、さきに述べたとおり、本議会での本議案の採択には賛成できないことを申し上げ、議員各位のご賛同をお願いいたします。以上。

○分科会長（浅田 徹） それでは、賛成、反対の意見がありますので、挙手により採決をいたしたいと思っております。

本案は、原案のとおり可決すべきことに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○分科会長（浅田 徹） 3人。それでは、はい、降ろしてください。

反対の委員。

○委員（松井 正志） 賛成少数でええんちゃうの。

○委員（青山 憲司） 賛成少数でいい。反対の確認せんでも。

○分科会長（浅田 徹） 賛成少数、うん、そうしましょうか。（発言する者あり）

それでは、賛成少数により、108号議案は否決すべきものと決定をいたしました。

これでよろしいですね。

分科会を暫時休憩します。

午後1時14分 分科会休憩

午後1時14分 委員会再開

○委員長（浅田 徹） それでは、次です。

建設経済委員会を再開をいたします。

まず、第116号議案、令和2年度豊岡市太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

宮下課長。

○コウノトリ共生課長（宮下 泰尚） 371ページをお開きください。第116号議案、令和2年度豊岡市太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）についてご説明いたします。

内容につきましては、部長が本会議で説明したとおりですが、令和元年度の決算が確定したことを受け、歳出の基金積立金に210万2,000円、一般会計繰出金に338万3,000円を計上し、歳入の繰越金に548万5,000円を計上するものです。

説明は以上です。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第116号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、第117号議案、令和2年度豊岡市水道事

業会計補正予算（第1号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

水道課、谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 385ページをご覧ください。第117号議案、令和2年度豊岡市水道事業会計補正予算（第1号）についてご説明いたします。内容は、本会議で部長が説明したとおりでございますが、詳細について、実施計画で補足説明を申し上げます。

388ページをご覧ください。表の一番下になります収益的支出の営業外費用のうち、雑支出の水道祭典費等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、水道まつり関連の事業を縮小、または延期したことにより不要となった224万4,000円を減額するものです。

その他の項目につきましては、消費税及び地方消費税納付額と、令和2年4月の人事異動に伴う人件費の増額をするものでございます。

説明は以上です。ご審議のほう、よろしくお願いたします。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

村岡委員。

○委員（村岡 峰男） しょうもないことかもしれませんが、あれ、水道まつりですね、水道祭典費と書いてあるんです、祭典、ちゃうんか、まつり、祭典なんて言えへんなど。どっちでもええんだけどな。

○委員長（浅田 徹） 谷垣課長。

○水道課長（谷垣 康広） 科目の名称としまして、祭典費として上げさせていただいております。

○委員長（浅田 徹） ほかにございませんか。

質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よ

って、第117号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に、第118号議案、令和2年度豊岡市下水道事業会計補正予算（第1号）を議題といたします。

当局の説明を求めます。

下水道課、石津課長。

○下水道課長（石津 隆） 397ページをご覧ください。第118号議案、令和2年度豊岡市下水道事業会計補正予算（第1号）についてご説明いたします。

補正の内容につきましては、本会議で部長が説明したとおりでございますが、私からは、400ページの補正予算（第1号）実施計画で補足の説明をいたします。

401ページの資本的収入及び支出の段をご覧ください。支出の建設改良費、管渠施設事業費、工事請負費を5,100万円増額しております。これは、兵庫県が実施しています道路改良工事に伴い、支障となる下水道管渠を移設する必要が生じたため、移設工事費を計上するものです。

具体的には、1つとしまして、城崎大橋関連の移設工事費が約4,000万円、2つ目としまして、豊岡インター線関連の移設工事費が約1,100万円必要となっております。これに伴いまして、企業債借入れなどの収入につきましても補正をいたしております。

工事以外につきましては、令和2年4月の人事異動に伴う人件費の増額なども行っております。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

○委員長（浅田 徹） 説明は終わりました。

質疑はありませんか。

質疑を打ち切ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認めます。よって、第118号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上、議案の審査は終了しました。

この際、当局の皆さんから特にご発言はありませんか。

それでは、ご苦労さまでした。当局の皆さんにつきましては、退席をしていただいて結構でございます。

午後1時22分 委員会休憩

午後1時22分 分科会再開

○分科会長（浅田 徹） 建設経済分科会を再開をいたします。

これより、分科会審査意見・要望のまとめに入ります。

本日、分科会で審査をしました、報告第18号、専決処分したものの承認を求めることについての専決第11号、令和2年豊岡市一般会計補正予算（第8号）並びに12号での第9号、さらには第108号議案、令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第11号）についてです。

この3件につきまして、分科会審査に係る意見、要望について、ご発言があればよろしくお願ひしたいと思います。

暫時休憩します。

午後1時23分 分科会休憩

午後1時33分 分科会再開

○分科会長（浅田 徹） それでは、再開をいたします。

この報告の仕方については、正副委員長にご一任ということでご異議はないということでよろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（浅田 徹） それでは、以上をもちまして、建設経済分科会を閉会をいたします。

午後1時33分 分科会閉会

午後1時33分 委員会再開

○委員長（浅田 徹） ただいまから、建設経済委員会を再開をしたいと思います。

これより、委員会審査の意見、要望のまとめに入りたいと思います。

本日、委員会審査しましたのは、報告第17号、専決処分したものの報告についての専決第10号、訴えの提起、それから、96号議案の物件購入契約の締結について、101号議案の令和元年度豊岡市水道事業剰余金の処分について、第102号議案につきましては、同年度豊岡市下水道事業剰余金の、この処分について、第104号議案につきましては、豊岡市立湯の原温泉オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について、第105号議案は、豊岡市たんたん温泉福寿の湯の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について、第106号議案につきましては、豊岡市営移住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について、116号議案につきましては、令和2年度豊岡市太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）、117号につきましては、豊岡市水道事業会計補正予算（第1号）、それから最後に、第118号議案としまして、令和2年度豊岡市下水道事業会計補正予算というふうなことで審議をしまりました。

この審査に係る意見、要望についてご発言があれば、よろしくお願いをしたいと思います。

暫時休憩をいたします。

午後1時35分 委員会休憩

午後1時38分 委員会再開

○委員長（浅田 徹） そしたら、再開をいたします。

意見、要望につきましては、それぞれ正副委員長に一任ということで願いたいと思います。よろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） 異議はないようですので、正副委員長にご一任をいただきます。

それでは、閉会中の継続審査、調査、審査の申出についてでございます。

それでは、3に掲載しております、閉会中の継続審査、調査の申出についてを諮っていきたいと思います。

議長に対して、委員会重点調査事項を閉会中の継続調査事項として申し出たいと思いますけれども、ご異議はございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員（村岡 峰男） これは12月議会まで生きるんかいな。この委員会解散し、新しく変わるけど。

○委員（松井 正志） 新しい委員会ができるのは12月です、ああ、11月、11月までだ。

○委員長（浅田 徹） この委員会では、一番、この丸の一番下のコロナウイルスの対策、これを加えました。

○委員（村岡 峰男） 結構です。

○委員長（浅田 徹） 一応、このように今、掲げております、まあ、といたしても、実際、あともうこの9月、10月、2か月、2か月ですかね。実際、委員会としてはこの9月議会が終われば、次のまた再編ということになっていくわけですが、この今までのものをしっかり踏襲していくことによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、この継続調査事項としましては、現行のものをそのまま踏襲していくことにつきまして、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（浅田 徹） ご異議なしと認め、そのように決定しました。

その他でございます。

何か皆さんのほうからご発言はございませんか。

そしたら、特に今の補正の関係の108号につきましては、まあ、これもご一任いただいて、しかるべく方法を選んで、また委員会側には、予算決算委員会のほうには、これ、ご一任していただくということでよろしいですね、その報告の仕方、当然……（「事前にまた内容について教えてください」と呼ぶ者あり）その内容についてはね。

そしたら、ないようでしたら、以上をもちまして
建設経済委員会を閉会いたします。大変長時間ご苦
労さまでした。

午後 1 時 4 2 分 閉会